2-177-353-**06**(2)

マイクロハイファイ
コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　MiniDisc　MDLP

XR-MJ10

目次

テープ ― 録音

音の調整

タイマー

表示

その他の機能

別売りの機器を使う

故障かな？と思ったら

その他

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- システムステレオやミニディスクなどを使用中、万一これらの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会 Tel. 03-5353-0336）

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、主にリモコンによる操作を説明していますが、本体の同じ、または類似した名前のボタンを使っても同様の操作ができます。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

再生できるディスクの一覧

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
MD	Mini Disc
CD-R/CD-RW （音楽データ）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable COMPACT disc Recordable COMPACT disc ReWritable

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生できません。

- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク
- 市販されているシールやリングなどのアクセサリーを取りつけたディスク
- 8cmディスクを標準ディスクに変換するアダプターを使用したディスク

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集したCD-R/CD-RWディスクに再生対応しています。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をしていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。

CD再生時のご注意

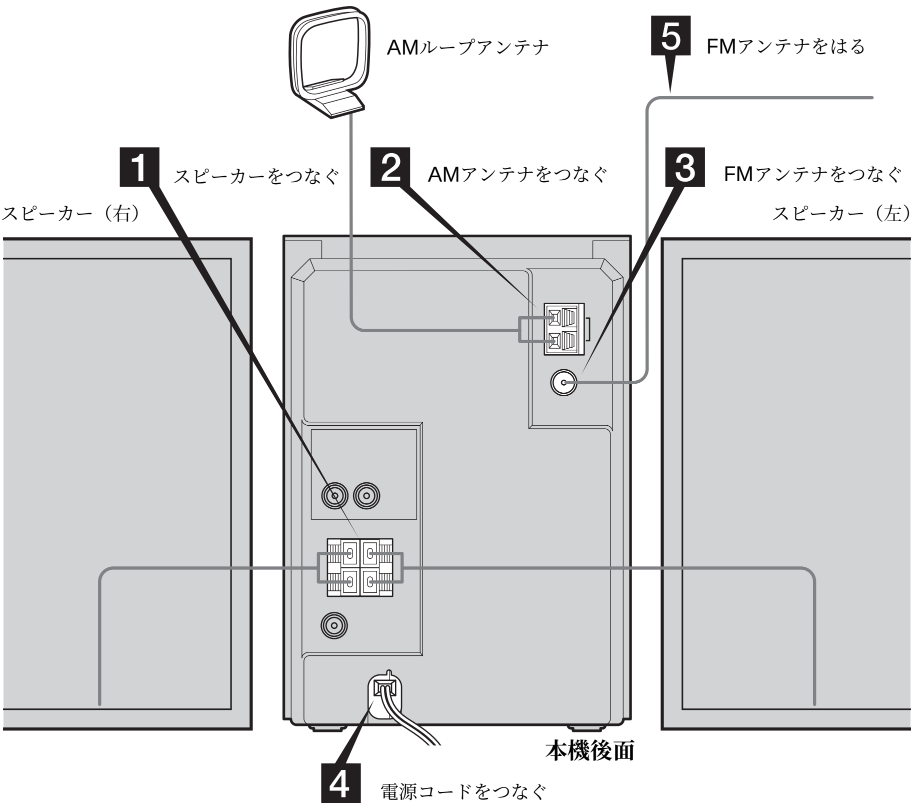
本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

準備1：本機をつなぐ

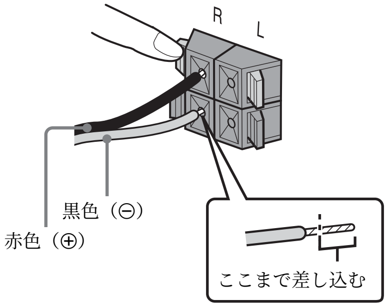
付属のアンテナやコードを1～5の順につなぎます。
付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をおすすめします。
外部アンテナを含め、別売り機器の接続については、77ページをご覧ください。



1 スピーカーをつなぐ

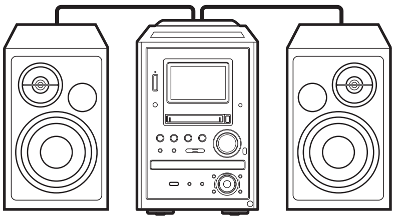
本機のスピーカー端子に、スピーカーコードをつなぐ。

本機



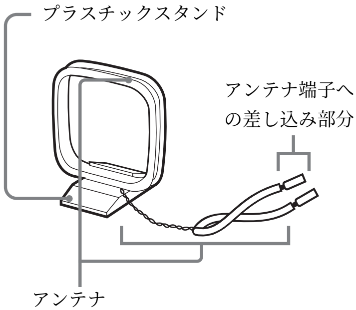
ご注意

- スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ局受信時の雑音の原因になります。
- R端子につないだスピーカーを向かって右へ、L端子につないだスピーカーを左へ置いてください。



2 AMアンテナをつなぐ

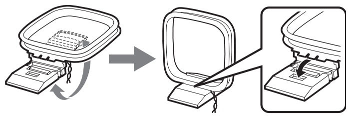
付属のAMアンテナの構造



AMの電波を受信しやすい形状、長さになっています。はずしたり、丸めたりしないでください。

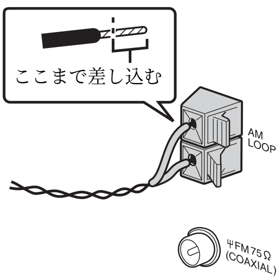
1 ループ（∞∞∞）になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。

2 スタンド状に組み立てる。
台を起こし、溝にはめます



3 差し込み部分のカバーをはずす。

4 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。

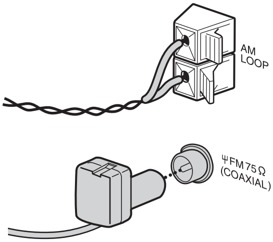


5 アンテナコードを軽く引いてみて、しっかり接続されたことを確認する。

次のページへつづく

3 FMアンテナをつなぐ

1 FMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



2 アンテナコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。アンテナコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。

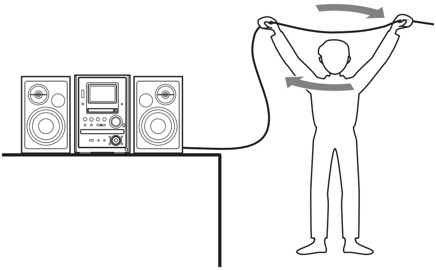
4 電源コードをつなぐ

すべての接続を終えたら、壁のコンセントへ電源プラグを差し込みます。
表示窓にデモ表示が現れます。デモ表示を消すには**I/⏻**（電源）を押して電源を入れます。

5 FMアンテナをはる

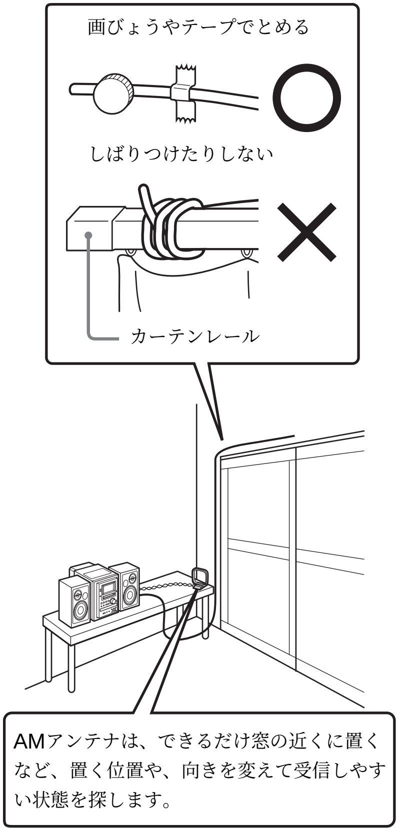
「手動受信してプリセットする」（52ページ）の手順3でFM局を選んで受信した後、次のようにアンテナを壁や天井にはってください。

1 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい向きを探す。



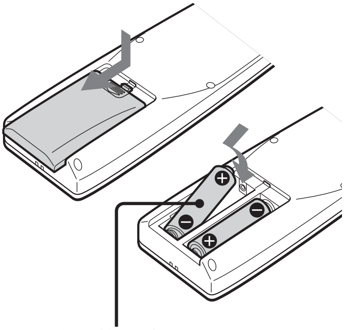
壁にはるときは、受信状態のよい壁面を探してください。

2 方向が決まったら、画びょうやテープではりつける。



リモコンに電池を入れる

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。



単3形乾電池

ご注意

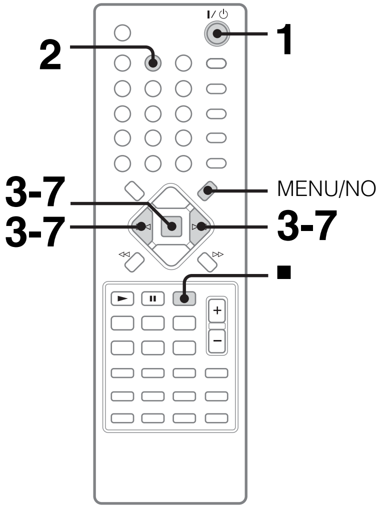
- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 R に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

準備2：時計を合わせる

タイマー録音などのタイマー機能を使うためにも、あらかじめ時計を合わせておきます。



1 電源を入れる

2 CLOCKを押す

時計が表示され、「年」が点滅します。

3 I◁◁または▷▷Iを押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「西暦の下２桁」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す

「月」が点滅します。

4 I◁◁または▷▷Iを押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「月」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す

「日」が点滅します。

次のページへつづく

5 **⏮または⏭を押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「日」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す**

「時」が点滅します。
（正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。）

6 **⏮または⏭を押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「時」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す**

「分」が点滅します。

7 **⏮または⏭を押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「分」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す**

設定が完了すると「Complete!」が表示され、時計が動き始めます。

設定を途中でやめる

MENU/NOまたは■を押す。

設定の途中で間違えたときは

◀◀または▶▶をくり返し押して、変更したいところ（年、月、日、時、分）を点滅させ、合わせ直す。

設定した時刻を変更する

1 **電源を入れる**

2 **CLOCKを押す**

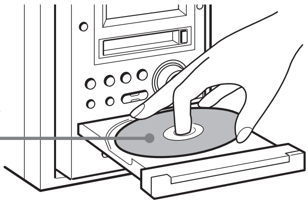
3 **時計表示中にENTER/YESを押す**

4 **「時計を合わせる」の手順3～7を行う**

ディスクを入れる

1 **電源を入れる**

2 **CD OPEN/CLOSE（または本体の⏏CD）を押して、ディスクを入れる**



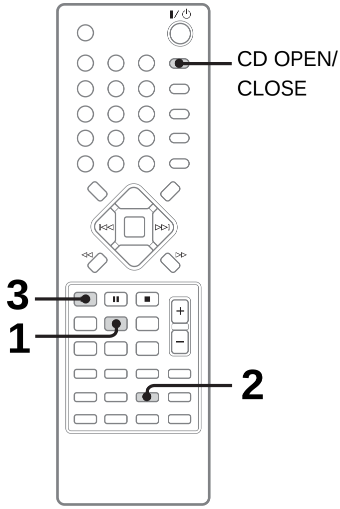
3 **もう一度CD OPEN/CLOSE（または本体の⏏CD）を押して、ディスクトレイを閉める**

ご注意

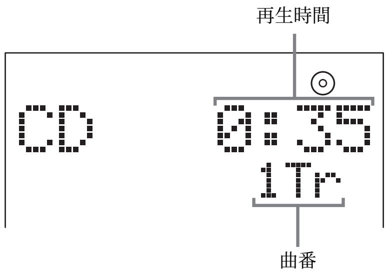
- 中古ディスク/レンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスクは使わないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機の故障の原因になることがあります。
- ディスクトレイを指で強く押して閉めると故障の原因になります。トレイは必ずCD OPEN/CLOSE（または本体の⏏CD）を押して閉めてください。

ディスクを再生する

（ノーマル/シャッフル/リピート）



CDを入れたときの表示例



次のページへつづく

1 CD（または本体のCD►II）を押して、ファンクションをCDに切り換える

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押して、好きな再生モードを選ぶ

こんなときは	表示（再生モード）
ディスク通りの曲順で再生する	表示なし（ノーマル）
曲順を変えて再生する	SHUF（シャッフル）
好きな曲順に再生する	PGM（プログラム）「好きな順に再生する」（13ページ）をご覧ください。

3 ►（または本体のCD►II）を押す

ご注意

再生中にPLAY MODEを押しても、再生モードは変えられません。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
一時停止する	IIを押す。もう一度押すと、再生を再開します。
トラックを選ぶ	I◁◁または▷▷Iをくり返し押す。
再生したい部分を探す（サーチ）	再生中に◀◀または▶▶を押し続け、聞きたいところで指を離す。
ディスクを取り出す	CD OPEN/CLOSE（または本体の⏏CD）を押す。
消音する	MUTINGを押す。もう一度MUTINGを押すか本体のVOLUMEを右に回すと、音が出ます。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

再生モードがノーマルのとき、曲番の数字を選んでから決定を押すと自動的に再生が始まります。

10以降の曲番を選ぶには、>10を押してから曲番の数字ボタンを押します。0を選ぶときは10/0を押します。

CDをくり返し聞く（リピート）

REPEATをくり返し押して「⮎」または「⮎1」を表示させる

⮎： 再生中のディスク全体をくり返します（5回まで）。

⮎1： 再生中の1曲だけをくり返します。

リピート再生をやめるには

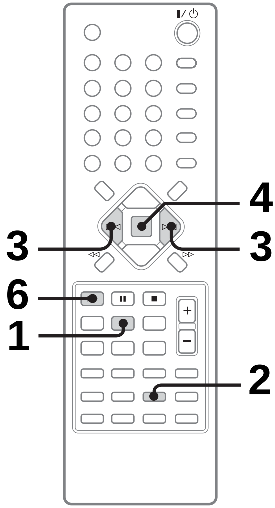
リピートをくり返し押して、「⮎」または「⮎1」を消す。

好きな順に再生する

（プログラム）

最大25個のトラック（曲）を選んでプログラムできます。プログラムした曲はMDやテープにシンクロ録音できます（24ページ、57ページ）。

本機の表示窓を使ってプログラムする



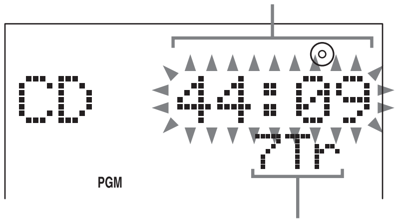
1 CD（または本体のCD►II）を押して、ファンクションをCDに切り換える

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「PGM」を表示させる

CD — 再生

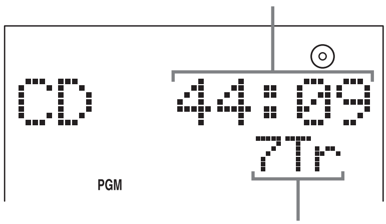
次のページへつづく

3 ⏮または⏭をくり返し押して、プログラムしたいトラックを選ぶ



4 ENTER/YESを押す

トラックが選んだ順にプログラムされます。
何トラック目にプログラムされたか（Step数）が表示された後、最後にプログラムしたトラック番号が表示されます。



5 手順3、4をくり返す

6 ►（または本体のCD►❚❚）を押す

プログラムした順に再生が始まります。

その他の操作

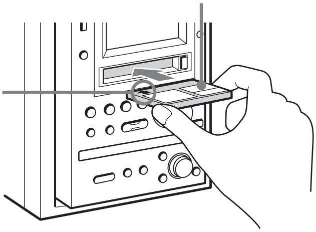
こんなときは	操作
ノーマル再生に戻す（ノーマル）	停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す。
プログラムした順番を確認する	プログラム再生中に⏮または⏭を押す。
プログラムの最後に曲を追加する	停止中に手順1～4を行う。
プログラムを消す	手順4でCLEARを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。
消音する	MUTINGを押す。もう一度MUTINGを押すか本体のVOLUMEを右に回すと、音が出ます。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています。►（または本体のCD►❚❚）を押すと、同じプログラムを再生できます。ただし、ディスクトレイを開閉するとプログラムは消えます。
- 26曲（STEP）以上プログラムしようとしたときは「Step Full!」が表示されます。
- CDの合計演奏時間が100分を超えたときと、31曲以上入っているCDの31曲目以降を選んだときは、「――:――」と表示されます。
- 本体のMULTI JOGを回しても、プログラムしたい曲を選ぶことができます。

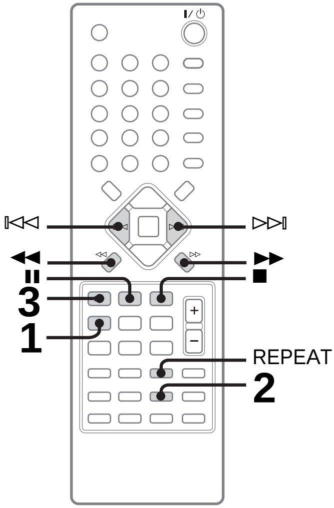
MDを入れる

MDを入れる



MDを聞く

（ノーマル/シャッフル/リピート）



1 **MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える**

2 **停止中にPLAY MODEをくり返し押して、好きな再生モードを選ぶ**

こんなときは	表示（再生モード）
MD通りの曲順で再生する	表示なし（ノーマル）
曲順を本機が自動的に選んで再生する	SHUF（シャッフル）
好きな順に再生する	PGM（プログラム）「好きな曲順で聞く」（17ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

3 ►（または本体のMD►❚❚）を押す

ご注意
再生中にPLAY MODEを押しても、再生モードは変えられません。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
一時停止する	❚❚を押す。もう一度押すと、再生を再開します。
曲を頭出しする	⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押す。
曲中の聞きたい部分を探す	再生中に◀◀または▶▶を押し続け、聞きたいところで指を離す。
MDを取り出す	本体の⏏MDを押す。
消音する	MUTINGを押す。もう一度MUTINGを押すか本体のVOLUMEを右に回すと音が出ます。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ
再生モードがノーマルのときは、曲番の数字を押すと自動的に再生が始まります。
10以降の曲番を選ぶには、>10を押してから、表示窓で点滅している「–」の数だけ数字ボタンを押します。0を選ぶときは10/0を押します。
例：「– – –」が点滅しているときに６を選ぶときは、10/0、10/0、6を押す。
例：「– – –」が点滅しているときに20を選ぶときは、10/0、2、10/0を押す。

MDをくり返し聞く（リピート）

REPEATをくり返し押して「↻」または「↻1」を表示させる

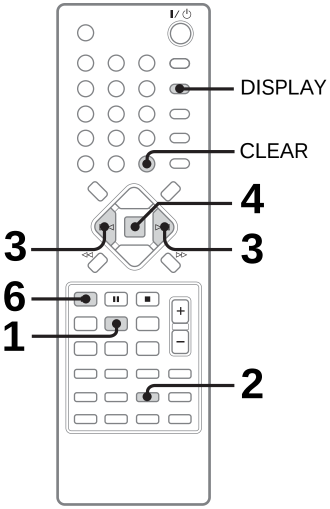
↻：　再生中のMDを全曲くり返します（5回まで）。
↻1：　再生中の1曲だけをくり返します。

リピート再生をやめる
リピートをくり返し押して、「↻」または「↻1」を消す。

好きな曲順で聞く

（プログラム）

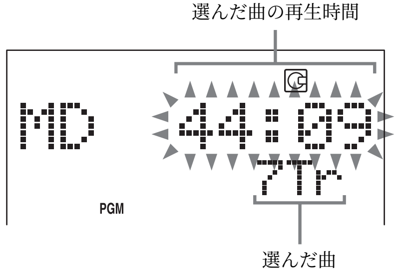
最大25曲まで選んでプログラムできます。



1 **MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える**

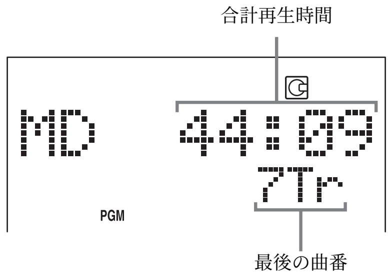
2 **停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「PGM」を表示させる**

3 **⏮または⏭をくり返し押して、プログラムしたい曲を選ぶ**



4 **ENTER/YESを押す**

選んだ曲がプログラムされます。
何曲目にプログラムされたか（Step数）が表示され、次にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計再生時間が表示されます。



5 **手順3、4をくり返す**

6 **►（または本体のMD►II）を押す**

プログラムした順に再生が始まります。

次のページへつづく

その他の操作

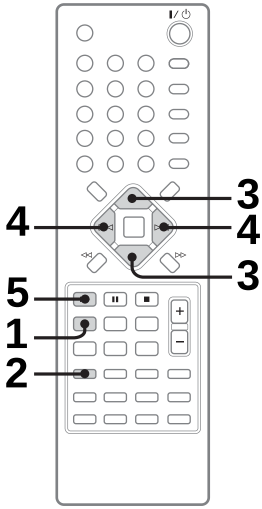
こんなときは	操作
ノーマル再生に戻す（ノーマル）	停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「PGM」や「SHUF」を消す。
プログラムした曲順を確認する	プログラム再生中に⏮または⏭を押す。
プログラムした曲の総数を調べる	停止中にDISPLAYを押す。プログラムした曲の合計数（Step数）が表示されます。
プログラムの最後に曲を追加する	停止中に手順3、4を行う。
プログラムを消す	停止中、または手順4でCLEARを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています。►（または本体のMD►II）を押すと、同じプログラムを聞けます。ただし、MDを取り出す、またはグループボタンを押すとプログラムは消えます。
- 26曲（STEP）以上プログラムしようとしたときは「Step Full!」が表示されます。
- MDの合計再生時間が1,000分を超えたときは、「−−−.−−」と表示されます。
- 本体のMULTI JOGを回しても、プログラムしたい曲を選ぶことができます。

グループ内の曲を聞く

グループに登録したお気に入りの曲だけを聞くことができます。
グループ機能について詳しくは、「グループ機能について」（32ページ）をご覧ください。



1 **MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える**

2 **停止中にGROUPを押して、「GROUP」を表示させる**

3 **GROUP ＋または−をくり返し押して、聞きたい曲があるグループを選ぶ**

4 グループ内の途中の曲から聞きたいときは、⏮または⏭をくり返し押して、曲を選ぶ

グループ内の1曲目から再生を始めるときは、手順5に進んでください。

5 ►（または本体のMD►❚❚）を押す

再生が始まります。グループ内の最後の曲の再生が終わると、自動的に停止します。

ご注意

- 曲を登録していないグループを選んで►（または本体のMD►❚❚）を押すと、MD内の最初のグループの1曲目から再生が始まります。
- 手順3でグループを選ばずに►（または本体のMD►❚❚）を押すと、MD内の最初のグループの1曲目（シャッフル再生のときは最初のグループ内の曲を本機が自動的に選択）から再生が始まります。

ちょっと一言

グループ内の曲に限って、再生モード（ノーマル/シャッフル/リピート/プログラム）を選ぶことができます。手順3の前で再生モードを選んでください。

録音の前にお読みください

MD（ミニディスク）は、音質劣化の少ない「デジタル方式」で録音、再生を行います。
また、CDにあるような曲番を付けることで、すばやい曲の頭出しや、録音した曲の編集ができます。
本機では音源によって、次のように録音を行い、曲番を付けます。

本機に入れたCDから録音するとき

- デジタル録音をします1)。
- 曲番は自動的にCDと同じように付きます。ただし、曲によっては付かないことがあります（96ページ）。

本機のラジオや、ANALOG IN入力端子につないだ別売りの機器から録音するとき

- アナログ録音をします2)。
- 曲番は録音開始点にしか付きませんが、「T.Mark L Sync」（27ページ）にすると、録音レベルを検出して自動的に付きます。

録音済みのMDに録音するときは

録音済みの曲に上書きしながら録音することはできません。
録音済みの曲の後から録音されます。
録音済みの曲を消したいときはMD編集のERASE機能（40ページ）を使います。

MDの曲番について（TOC）

MDでは、曲番（曲順）や曲の開始/終了点などの情報を「TOC3)」と呼ばれる領域で、音楽とは別に管理しています。「TOC」の情報を書き換えるだけで曲の編集がすばやくできます。

次のページへつづく

CDの読みとりエラーについて

- 次のようなCDを使うと、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。
  ーシールなどが貼られている
  ー円形以外の形をしている（ハート形など）
  ーラベルの印刷が一方向にかたよっている
  ー傷がついている
  ー汚れている
  ー反っている
- 本機の状態が次のようなときも、読み取りエラーが起こって正しく録音されない場合があります。
  ーディスクトレイや本機を叩いた
  ー水平でないところや、柔らかいものの上に設置している
  ースピーカーやドアなど、振動源の近くに設置している
- 上記の読み取りエラーが起こったときに、無音の曲が余分に作られることがあります。余分に作られた曲は、MD編集のERASE機能（40ページ）を使って消すことができます。

1) デジタル録音には制約があります（97ページ）。
2) デジタル機器をつないでいても、アナログ録音されます。
3) Table（テーブル） of（オブ） Contents（コンテンツ）の略（目次の意味）。

録音をした後は

本体の⏏MDを押してMDを取り出す、またはI/⏻（電源）を押して電源を切る

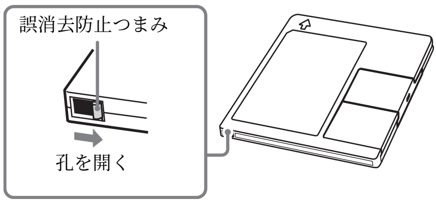
「TOC」または「TOC Writing」が点滅し始め、録音の情報がMDへ書き込まれ、録音が完了します。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。
TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

MDの録音内容を消したくないときは

- 誤消去防止つまみをずらして孔を開きます。再び録音するときは、つまみを元の位置に戻します。



- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。誤消去防止つまみを元の位置に戻して、孔をふさいでください。

録音時の制約について

長時間録音（MDLP録音）について

1枚のMDに録音できる長さを、2倍長（LP2）または4倍長（LP4）にして録音することができます（MDLP録音）。REC MODEを押して録音モードを切り換えます。各録音のページで設定します（24、26ページ）。

MDLP録音した曲は、下記のマークが印刷された機器でのみ再生できます。非対応機器では再生できません。

MDLP　MDLP

ご注意

- 録音モードを「MONO」にしても、スピーカーからは音源のままの音声（ステレオ信号録音時はステレオ音声）が聞こえます。
- MDLP録音したMDをMDLP未対応機器で再生しようとしたときに、「LP:」と表示して再生できないことがわかるように編集されたMDがあります。それらのMDを再生すると、本機はMDLPに対応しているため、「LP:」は表示されません。

ちょっと一言

- LP4ステレオ録音は、特殊な圧縮方式によって長時間録音を実現しています。音質を重視するときは、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音をおすすめします。
- 1枚のMDに各録音モードを混在させて録音することもできます。
- 選んだ録音モードは録音が終了しても保持されます。変更する場合は、REC MODEをくり返し押して録音モードを切り換えてください。

高速CD-MDシンクロ録音について

1枚のCDをそのまま録音するときは、通常よりも高速（約4倍）で録音することができます。

高速CD-MDシンクロ録音の制限事項について

CDの同じ曲を、続けて高速シンクロ録音することはできません（HCMS：ハイスピードコピーマネージメントシステム）（22ページ）。このとき、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わります。

ただし、録音を始めた時点から74分が経過すると、再び高速録音が可能になります。

ご注意

- 録音済みの曲を消しながら録音することはできません。録音済みの曲の後から録音されます。
- CDの全曲を録音するときは、CDの再生時間よりも残り時間が長い録音用MDを使用してください。
- 録音を一時停止することはできません。
- MDの再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、自動的にノーマル再生に切り換わります。
- 高速CD-MDシンクロ録音中は、以下の機能が働きません。
  - ー オートカット機能
  - ー「Setup Menu」で設定した録音レベルの設定値（録音レベルは0.0dBで録音されます）
- PGMは高速録音できません。

「Retry」と表示されたときは

CDの読み取りエラーが起こり、本機はCDのデータを再度読み取っています。

- 読み取りに成功すると、高速シンクロ録音のままで録音を続けます。
- CDや本機の状態が悪く、再読み込みができないときは、高速シンクロ録音ができなくなります。この場合は、「Retry」が点滅し、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わります。なお、このとき、録音されている音を聞くことはできません。

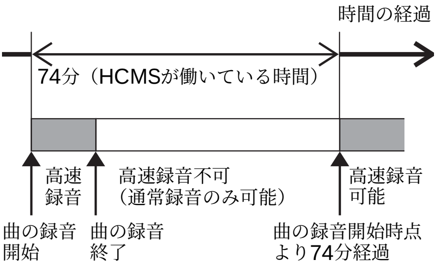
次のページへつづく

ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）について

ある曲を高速CD-MDシンクロ録音すると、録音を始めた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
録音しようとしている曲が74分以内に録音されていると、以下のように表示されます。



すでに高速CD-MDシンクロ録音された曲を再び高速録音した場合、自動的に通常速度のCD-MDシンクロ録音に切り換わり、録音を継続します。



高速シンクロ録音を曲の途中で止めたり、曲の録音中にMDの残り時間がなくなると
その曲はMDに記録されません。この場合、HCMSによる録音は禁止されないので、すぐに高速シンクロ録音で録音し直すことができます。

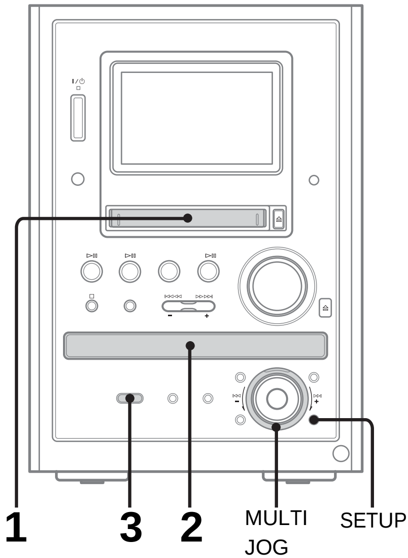
高速シンクロ録音中に本機の電源を切ったり、スリープタイマーで電源が切れると
その曲はMDに記録されません。この場合、HCMSによる録音は禁止されないので、すぐに高速シンクロ録音で録音し直すことができます。

高速シンクロ録音中に本機の電源コードを抜くと
電源が切れるまでに録音された部分がMDに記録されます。この場合、HCMSによってその曲は録音されたものと見なされ、録音開始時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。

ご注意
通常速度のCD-MDシンクロ録音時には、HCMSは働きません。

ワンタッチシンクロ録音する
（SMART REC）

本体のSMART RECを押すことで、ワンタッチで1枚のCDをそのままMDにデジタル録音できます。
通常速度の録音だけでなく、高速（通常速度の約4倍）で録音することもできます。
お買い上げ時には「SYNC REC MD ×4（高速録音）」に設定されています。



1 録音用のMDを入れる

2 CDを入れる

3 SMART RECを押す

高速録音が始まります。

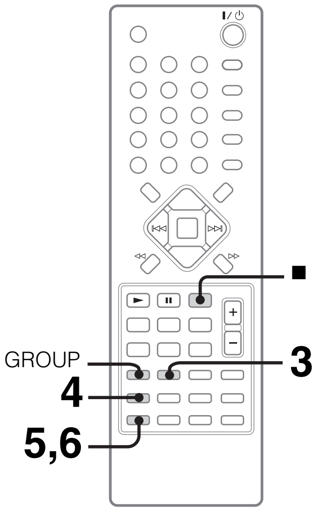
通常速度で録音するときは

SETUPをくり返し押して「SMART REC」を表示させ、MULTI JOGを回して「CD▶MD ×1」を選んでから、録音を開始します。

ディスクを録音する

（CD-MDシンクロ録音/高速CD-MDシンクロ録音）

1枚のCDをそのままMDにデジタル録音できます。また、録音モードを切り換えて、MDに録音できる長さを選ぶこともできます。
通常速度の録音だけでなく、高速（通常速度の約4倍）で録音することもできます。



1 録音用のMDを入れる

2 CDを入れる

3 REC MODEをくり返し押して、録音モードを選ぶ

録音モードを切り換えて録音できる長さを選ぶことができます。

こんなときは	表示（録音モード）
標準の長さで録音する	表示なし （ステレオ録音）
標準の2倍の長さで録音する	LP2 （LP2ステレオ録音）
標準の4倍の長さで録音する	LP4 （LP4ステレオ録音）
ステレオ信号をモノラルに変換して録音する（標準の2倍の長さで録音します）	MONO （モノラル録音）

4 SYNCHRO MODEをくり返し押して、「CD▶MD ×1」を表示させる

高速で録音（高速CD-MDシンクロ録音）するときは、「CD▶MD ×4」を表示させます。

5 REC PAUSE/STARTを押す

「Press START」と「MD REC」が点滅します。MDが録音一時停止に、CDは再生一時停止になります。

6 「Press START」が点滅しているのを確認してからREC PAUSE/STARTを押す

録音が始まります。
録音が終わると、CD、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

グループ機能を使って録音するには

手順2の後、GROUPを押して「GROUP」を表示させ、手順3へ進みます。手順5の後、GROUP ＋または－をくり返し押して「New Group」（新しいグループ）、または録音したいグループを選び、手順6へ進みます。

同時にテープにも録音するには

録音用のテープを入れ、手順4で「CD►MD/TAPE」を表示させます。録音途中でMD、テープのどちらかが終わってしまっても、もう一方は録音を続けます。

CDの好きな曲だけを録音するには

CDのプログラム再生機能を使って、好きな曲を選んでから録音することもできます。手順2と3のあいだで、「好きな順に再生する」（13ページ）の手順1～5の操作を行います。

ご注意

- 録音を一時停止することはできません。
- MDの再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順5で自動的に解除されます。
- CDの再生モードがプログラムやシャッフルになっているときは高速録音できず、通常速度の録音のみになります。

ちょっと一言

- LP2/LP4ステレオ録音について、詳しくは21ページの「長時間録音（MDLP録音）について」をご覧ください。
- 高速CD-MDシンクロ録音について、詳しくは21ページの「高速CD-MDシンクロ録音について」をご覧ください。

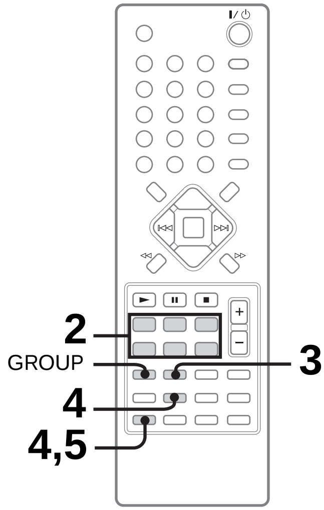
1 Track RECについて

CDの曲の再生中にSMART RECまたはシンクロ録音の操作を行うと、その曲の頭に戻ってそのトラックのみを録音できます。

CD/テープ/ラジオの好きな部分から録音する

（マニュアル録音）

CDやテープ、ラジオまたはつないでいる別売り機器の好きなところから録音することができます。



1 録音用のMDを入れる

MD — 録音

次のページへつづく

2 録音したい音源のボタンを押して（FUNCTIONをくり返し押して）、録音したい音源を表示させる

- CD：本機のCDの音を録音する
- TAPE：本機のテープの音を録音する
- FMまたはAM：本機のラジオの音を録音する
- AUX：別売りの機器をつなぐ（77ページ）

3 REC MODEをくり返し押して、録音モードを選ぶ

録音モードを切り換えて録音できる長さを選ぶことができます。

こんなときは	表示（録音モード）
標準の長さで録音する	表示なし（ステレオ録音）
標準の2倍の長さで録音する	LP2（LP2ステレオ録音）
標準の4倍の長さで録音する	LP4（LP4ステレオ録音）
ステレオ信号をモノラルに変換して録音する（標準の2倍の長さで録音します）	MONO（モノラル録音）

4 REC MEDIA SELECTをくり返し押して「REC MD」を表示させ、REC PAUSE/STARTを押す

MDが録音一時停止になります。

5 REC PAUSE/STARTを押してから、録音したい音源の再生ボタンを押す（103、105ページ）。

本機のCDから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にENTER/YESを押すと、押したところに曲番が付きます（トラックマーク機能）。
ラジオからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」（27ページ）をご覧ください。

録音を止める

■を押す。

録音を一時停止する

REC PAUSE/STARTを押す。
もう一度押すと録音が再開されます。

グループ機能を使って録音するには

手順2の後、GROUPを押して「GROUP」を表示させ、手順3へ進みます。手順4の後、GROUP ＋または－をくり返し押して「New Group」（新しいグループ）、または録音したいグループを選び、手順5へ進みます。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。
TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

同時にテープにも録音するには

録音用のテープを入れ、手順4で「REC►MD/TAPE」を表示させます。録音途中でMD、テープのどちらかが終わってしまっても、もう一方は録音を続けます。

ちょっと一言

- 本機のディスクを曲の途中からマニュアル録音したいときは、手順4の前に録音を開始したいところでCD（または本体のCD►II）を押してディスクの再生を一時停止し、手順5でもう一度CD（または本体のCD►II）を押して再生を始めます。
- 録音中にDISPLAYを押すと、MDの残り時間を見ることができます。
- AM放送を録音中に「ピー」や「ザーザー」という雑音が出るときは、付属のAMループアンテナを雑音の消える位置に動かしてください。
- LP2/LP4ステレオ録音について、詳しくは21ページの「長時間録音（MDLP録音）について」をご覧ください。
- 本機のラジオの音を録音するとき、プリセット受信でラジオ局名がつけられている場合には、録音と同時にラジオ局名も記録されます。

ご注意

- CDから録音するときに録音を一時停止すると、「New Track」が点滅してそこに曲番が付きます。また、同じCDの同じ曲を続けて録音すると、曲番が1つしか付かないことがあります。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。MD⏏を押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（20ページ）。

頭出しマーク（曲番）を付ける

録音後に付ける

MDのDIVIDE機能（46ページ）を使います。

録音中に好きなところに付ける（トラックマーク）

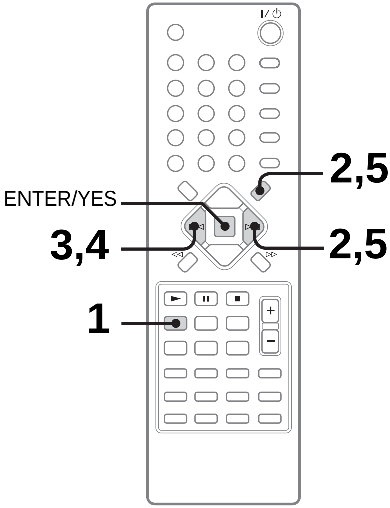
マニュアル録音中、好きなところに曲番を付けられます。

マニュアル録音中に、曲番を付けたいところでENTER/YESを押す

録音前に自動で付くように設定する（レベルシンクロ録音）

お買い上げ時はレベルシンクロ録音機能が働くよう設定されていますので、自動的に曲番が付きます。音源からの入力信号が約2秒以上続けて一定レベル以下になり、再び、そのレベルを越えたときに付きます。録音時、表示窓に「L-SYNC」と表示されていないときは、以下の手順でレベルシンクロ録音機能が働くよう設定してください。

次のページへつづく



1 **MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NOをくり返し押して、「Setup Menu」を表示させる**

3 **⧏◁または▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「T.Mark Off（またはT.Mark LSync）」を表示させ、ENTER/YESを押す**

4 **⧏◁または▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「T.Mark LSync」を表示させ、ENTER/YESを押す**

「L-SYNC」が点灯します。

5 **MENU/NOを押す**

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順にしたがって操作します。

途中でやめる

手順3から4の途中でMENU/NOを押す。

その他の操作

こんなときは	操作
自動的に曲番を付けるのをやめる	手順4で「T.Mark Off」を表示させ、ENTER/YESを押す。
入力信号の検出レベルを変更する*	手順1～3の後、⧏◁または▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「LS(T)」を表示させ、ENTER/YESを押す。⧏◁または▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）入力信号レベルを−72dBから0dB（2dB単位）の範囲で選び、ENTER/YESを押し、MENU/NOを押す。

* テープやラジオなど、雑音が多く曲番が付きにくいときは設定レベルを上げると曲番が付きやすくなります。お買い上げ時は−50dBに設定されています。

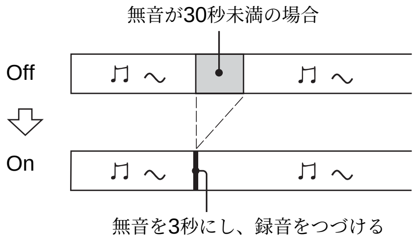
ご注意

- 曲によっては付かないことがあります。
- テープやラジオなどの音源で雑音が多いときは自動では付かないことがあります。
- CDから録音するときに録音を一時停止すると、そこに曲番が付きます。また、同じCDの同じ曲を続けて録音すると、曲番が1つしか付かないことがあります。
- 編集できないディスクが入っている場合は「Setup Menu」を表示できません。

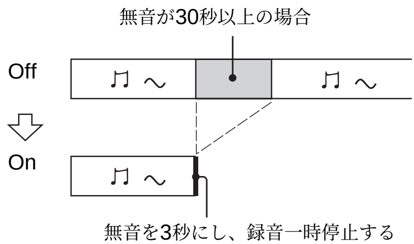
自動的に曲間をそろえる

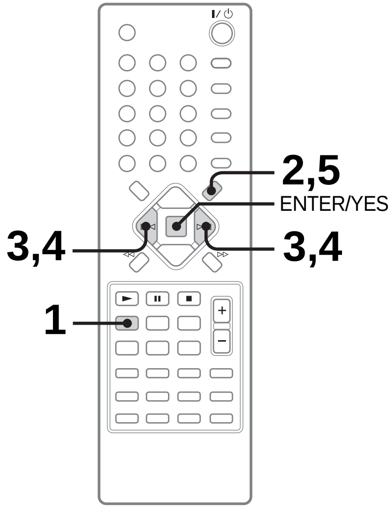
（スマートスペース）

CDのデジタル録音時は、自動的に曲間がそろいます。その他の録音をしているときは、スマートスペースをOnに設定すると、録音中に約3秒以上（約30秒未満）の無音状態が続いたときに、無音部分を約3秒に短縮して録音します。
お買い上げ時は「On」に設定されています。



オートカット：スマートスペースをOnに設定すると、約30秒以上の無音が続いたとき、無音部分が約3秒に短縮され、録音一時停止状態になります。





1 **MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NOをくり返し押して、「Setup Menu」を表示させる**

3 **I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「S.Space On（またはS.Space Off）」を表示させ、ENTER/YESを押す**

4 **I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「S.Space On」を表示させ、ENTER/YESを押す**

次のページへつづく

5 MENU/NOを押す

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順にしたがって操作します。

録音中、約30秒未満の無音状態が続くと「Smart Space」と表示され、無音部分が約3秒に短縮され、そのまま録音を続けます。

録音中、約30秒以上の無音状態が続くと「Auto Cut」と表示され、無音部分が約3秒に短縮されたあと、無音一時停止状態になります。録音を続けたいときは、►（または本体のMD►❚❚）を押します。

途中でやめる

手順3から4の途中でMENU/NOを押す。

自動的に曲間をそろえるのをやめる

手順4で「S.Space Off」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ご注意

編集できないディスクが入っている場合は「Setup Menu」を表示できません。

編集の前にお読みください

編集を始める前に

MDの編集をするには、下記が必要です。

- MDが書き込み可能な状態になっている。
- MDの再生モードがノーマル再生になっている。

編集を始める前に、必ず次の手順で上記を確認してください。

1 MDが誤消去防止状態になっていないか確認する

誤消去防止状態になっているときは、つまみを動かして孔をふさぎます。
MDが誤消去防止状態になっているときは、編集はできません。

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押し、「SHUF」または「PGM」を消して、ノーマル再生にする

編集はノーマル再生のときのみできます。シャッフルまたはプログラム再生中は、編集はできません。

編集を途中でやめるには

MENU/NOを押す。

ご注意

「誤消去防止状態の曲（Net MD対応機器でチェックアウトした曲など）」には「ディスク名や曲名、グループ名を付ける（NAME）」および「曲順を変える（MOVE）」以外の本機での編集操作はできません。

編集をした後は

本体の⏏MDを押してMDを取り出す、またはI/⏻（電源）を押して電源を切る

「TOC」または「TOC Writing」が点滅し始めます。編集の情報がMDへ書き込まれ、編集が完了します。

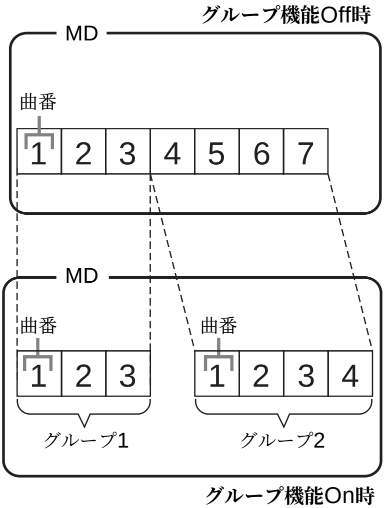
電源コンセントを抜く前に

MDの編集は編集情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」が点灯または点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。編集情報が正しく記録されません。

グループ機能について

グループ機能とは?

1枚のMDの中の曲をグループに分けて再生、録音、編集できる機能です。例えば、MDの中の1曲目から5曲目を「Rock」というグループにし、6曲目から9曲目を「Pops」というグループにして好きなグループの曲だけ聞いたり、新しい曲をグループに追加したりすることができます。また、GROUPでグループ機能のOn/Offができるので、この機能を使う、使わないを切り換えることもできます。



グループ機能を使ってグループに分けると、各グループの曲番は1から順に付け直されます。
上図の例では、グループ機能Off時の曲番4、5、6、7は、グループ機能On時にはグループ2の曲番1、2、3、4となります。

グループ機能を使った操作

- グループ内の曲を聞く（18ページ）
- CDを録音する（24ページ）
- 好きなところから録音する（25ページ）
- グループに名前を付ける（33ページ）
- 新しいグループを作る（36ページ）
- グループ登録を解除する（38ページ）

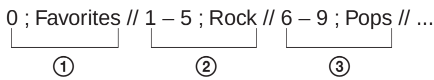
ご注意

本機のグループ機能を使って録音したMDは、他のグループ機能対応機器でもお使いいただけます。ただし、機器によってはグループ機能の動作が本機とは異なる場合があります。

グループ情報はどのように記録されているの?

グループ機能を使って録音すると、グループ管理情報は、「ディスク名」として自動的にMDに記録されます。具体的には以下のような文字列がディスク名の記録領域に書き込まれています。

ディスク名の記録領域



① ディスク名を「Favorites」にする。
② 1曲目から5曲目を「Rock」という名のグループに入れる。
③ 6曲目から9曲目を「Pops」という名のグループに入れる。

そのため、グループ機能を使って録音したMDを、グループ機能未対応機器や、グループ機能をOffにして本機で読み込むと、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。

もしNAME機能を使ってこの文字列を誤って書き換えてしまうと、そのMDではグループ機能が使えなくなる場合*がありますのでご注意ください。

* この場合は「GROUP」が点滅します。再びグループ機能を使うには「すべてのグループを一度に解除する」（39ページ）を行って、すべてのグループ登録を解除して登録し直してください。

「Group Full!」と表示されるときは

グループ管理に必要な文字数が不足しているため、録音ができません。不要な文字（ディスク名または曲名）を消す（35ページ）と、グループに録音できるようになります。

ご注意

- グループ機能の設定は、MDを取り出したり、本機の電源を切ったりしても記憶されています。
- グループ機能がOnのときは、グループに登録されていない曲は表示、再生できません。
- グループの順番を変えることはできません。
- すでに曲が記録されている別のグループがある場合、新しいグループはその後ろに追加されます。
- 既存のグループに曲を追加するとグループ内の最後の曲の後に曲が追加されます。
- 1枚のMDの中には99グループまで登録できます。
- 既存のグループに曲を追加録音すると、グループ機能を解除したときに、追加録音した曲以降の曲番が変わることがあります。
- グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないMDを挿入すると、「GROUP」が点滅します。この場合、グループ機能を使えません。

ディスク名や曲名、グループ名を付ける

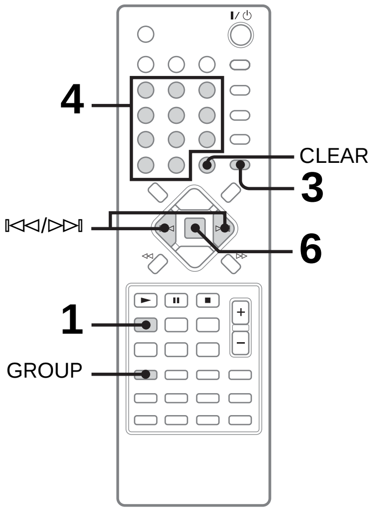
（NAME）

録音後のMDにディスク名や曲名を付けることができます。

1枚のMDに、ディスク名、曲名、グループ名を計約1,700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。

ただし、グループ機能を使って録音したMDにディスク名を付けるときは、グループ管理情報を誤って書き換えてしまわないように、グループ機能を働かせた状態（下記手順2）でディスク名を付けてください。

グループ管理情報について詳しくは、「グループ情報はどのように記録されているの?」（32ページ）をご覧ください。



次のページへつづく

1　MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える

2　付けたい名前（曲名/ディスク名/グループ名）によって、以下のように操作する

曲名を付けるには

⏮または⏭をくり返し押して、名前を付けたい曲番を選び、NAME EDIT/SELECTを押す。

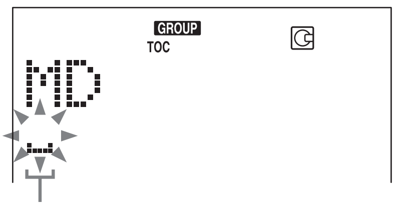
ディスク名を付けるには

総曲数（グループ機能が働いているときは、総グループ数）が表示されているときに、NAME EDIT/SELECTを押す。

グループ名を付けるには

GROUPをくり返し押して「GROUP」を表示させてから、GROUP ＋または－をくり返し押して名前を付けたいグループを選ぶ。グループの総曲数が表示されているときに、NAME EDIT/SELECTを押す。

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。



カーソル

3　NAME EDIT/SELECTを押して、文字の種類を選ぶ

文字の種類（表示順）	表示
アルファベット大文字/スペース/記号	Selected AB
アルファベット小文字/スペース/記号	Selected ab
カタカナ/カタカナ小文字*/濁点・半濁点	Selected ア
数字	Selected 12

* カタカナ小文字はアイウエオヤユヨツのみ入力できます。

4　入力したい文字に対応するアルファベット/数字/カタカナ入力ボタンを押す

文字の種類	操作
アルファベット/カタカナ	入力したい文字や行がある数字ボタン（または⏮または⏭）をくり返し押して希望の文字を表示させ、▶▶を押す。
数字	入力したい数字の数字ボタンを押す。
濁点（゛）/半濁点（゜）*	>10ボタンをくり返し押して、濁点・半濁点を選ぶ。
スペース（空き）	10/0ボタンを押す。
記号' –/, .（）：！?	数字ボタン1をくり返し押して、記号を選ぶ。
記号＆＋＜＞＿＝"；＃＄%@＊｀	数字ボタン1を押してから、⏮または⏭をくり返し押して記号を選ぶ。

* 濁点「ウ」、「カ/サ/タ/ハ行」、半濁点は「ハ行」の文字の後にのみ入力できます。

5 手順3、4をくり返して、名前を付ける

6 ENTER/YESを押す

文字を消して変更する

手順3、4中に、◀◀または▶▶をくり返し押して変更したい文字を点滅させ、CLEARを使って文字を消してから手順3、4をくり返す。

文字を追加する

手順1、2の後、文字を追加したいところまで◀◀または▶▶をくり返し押してカーソルを動かし、手順3へ進む。

ご注意

ディスク名に、「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

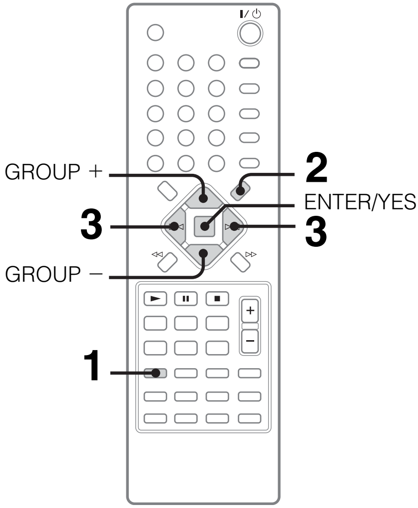
ちょっと一言

曲名は再生中でも付けられます。名前を付け終わるまで再生がくり返されます。

付けた名前を確認する

ディスク名は停止中に、曲名は再生中にSCROLLを押すと、表示窓に名前が横に流れます（スクロール）。
グループ名を確認するときは、停止中にGROUPを押して「GROUP」を表示させ、GROUP ＋または－をくり返し押して、名前を確認したいグループを選び、SCROLLを押します。
スクロール中にSCROLLを押すと、流れている名前が止まります。もう一度押すと、再びスクロールします。

付けた名前を消す



1 グループ名を消すときは、停止中にGROUPを押して「GROUP」を表示させる

2 停止中にMENU/NOを押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Nm Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す

次のページへつづく

4 消したい名前によって以下のように操作する

ディスク名を消すときは

⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Nm Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

曲名を消すときは

⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）名前を消したい曲の曲番を表示させ、ENTER/YESを押す。

グループ名を消すときは

GROUP ＋または－をくり返し押して、名前を消したいグループ番号を選び、ENTER/YESを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて、付けた名前が消えます。

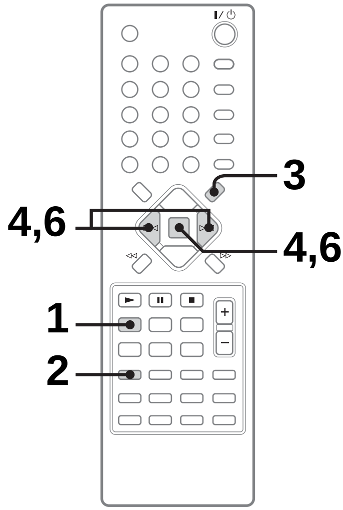
ご注意

曲が登録されていないグループの名前は消すことができません。

新しいグループを作る

（CREATE）

曲の入っていないグループを新しく作ったり、新しいグループを作って、録音済みの曲を登録したりすることができます。グループ登録されていない、連続した曲のみで登録できます。
グループ機能について詳しくは、「グループ機能について」（32ページ）をご覧ください。



1 MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える

2 GROUPを押して、「GROUP」を表示させる

3 MENU/NOを押す

4 ⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Gp Create?」を表示させ、ENTER/YESを押す

5 「ディスク名や曲名、グループ名を付ける」（33ページ）の手順3～6を行う

6 ⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、登録したい最初の曲を選び、ENTER/YESを押す

ご注意

曲の登録をしないでグループを作るときは、必ずグループ名が必要です。

グループに曲を登録する

手順6で⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、登録したい最初の曲番を選び、ENTER/YESを押す

1曲のみ登録するときは、もう一度ENTER/YESを押します。

2曲以上を登録するときは、⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、登録したい最後の曲番を選び、ENTER/YESを押します。

ご注意

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- 手順5でグループ名を入力しないと、グループ名は「Group＊＊（グループ番号）」と表示されます。

ちょっと一言

グループ機能のない機器で録音した曲でもグループ登録することができます。

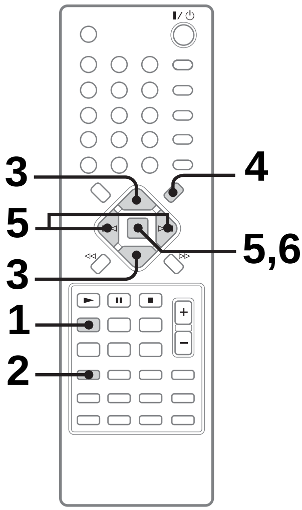
グループ登録を解除する

(RELEASE)

登録を解除したいグループを指定するだけで、グループ登録を簡単に解除することができます。また、すべてのグループの登録を一度に解除することもできます。
グループ機能について詳しくは、「グループ機能について」(32ページ)をご覧ください。

1グループずつ解除する

指定したグループ登録を解除し、グループを消すことができます(曲そのものは消せません)。



1 MDを押して(または本体のFUNCTIONをくり返し押して)、ファンクションをMDに切り換える

2 GROUPを押して、「GROUP」を表示させる

3 GROUP +または−をくり返し押して、登録を解除したいグループを選ぶ

4 MENU/NOを押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して(または本体のMULTI JOGを回して)「Gp Release?」を表示させ、ENTER/YESを押す

「REL Gp＊＊(グループ番号)??」が表示されます。

6 ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、グループが解除されます。

途中でやめる

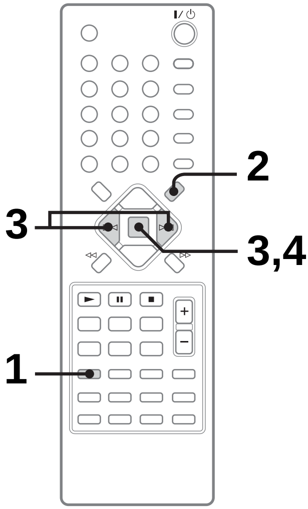
MENU/NOを押す。

グループ登録を解除する前の状態に戻す

グループ登録を解除したすぐあとなら、元の状態に戻せます(47ページ)。

すべてのグループを一度に解除する

MD内のすべてのグループ登録を一度に解除することができます。



1 **停止中にGROUPを押して、「GROUP」を表示させる**

2 **MENU/NOを押す**

3 **⏮またはを⏭くり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Gp All REL?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

「All REL??」が表示されます。

4 **ENTER/YESを押す**

「Complete!」が数秒間表示されて、MD内のすべてのグループ登録が解除されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

グループ登録を解除する前の状態に戻す

グループ登録を解除したすぐあとなら、元の状態に戻せます（47ページ）。

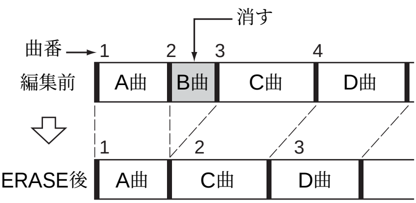
曲を消す
（ERASE）

「Erase」は「消す」という意味です。
消したい曲番を選ぶだけで、録音した曲を簡単に消せます。消したすぐ後ならUNDO機能（47ページ）を使ってもとに戻せますが、他の編集などをしてからでは元に戻せないので、よく確認してから消してください。
消すには、次の3種類の方法があります。
- 1曲を消す（Track Erase）
- 全曲を消す（All Erase）
- 曲の一部分を消す（A-B Erase）

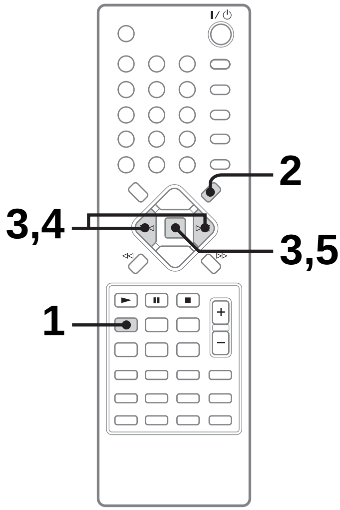
1曲を消す（Track Erase）

1曲消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例）2曲目を消す



このように曲番がくり上がっていきますので、2曲以上消すときは、途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すことをおすすめします。

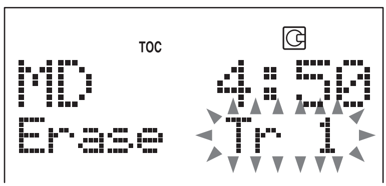


1 **MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NOを押す**

3 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Tr Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す**
表示されている曲の再生が始まります。

4 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、消したい曲の曲番を表示させる**



5　ENTER/YESを押す
「Complete!」が数秒間表示されて、手順4で選んだ曲が消え、次の曲の再生が始まります（最後の曲を消したときは、消した前の曲の再生が始まります）。

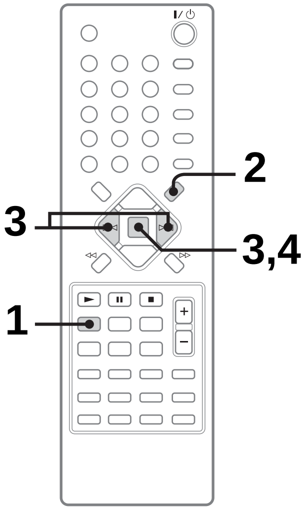
途中でやめる
MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す
曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（47ページ）。

ご注意
グループ内の全曲を消すと、グループ内のすべての曲と同時に、グループも消えます。

全曲を消す（All Erase）

一度に、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名（MDに記録しているすべての内容）を消せます。



1　MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える

2　MENU/NOを押す

3　I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「All Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す
「All Erase??」が表示されます。

4　もう一度、ENTER/YESを押す
「Complete!」が数秒間表示されて、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名が消えます。

途中でやめる
MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す
曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（47ページ）。

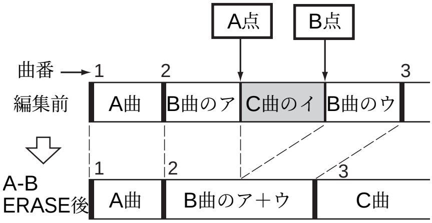
ご注意
グループ機能が働いているときに上の操作を行うと、グループ内の曲だけでなくMDのすべての曲が消えますのでご注意ください。

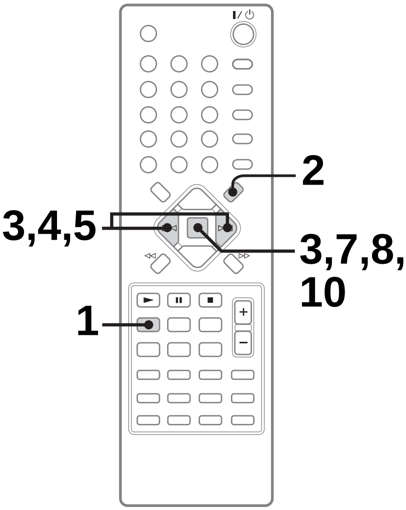
曲の一部分を消す（A-B Erase）

1曲中の消したい範囲を指定して、簡単にその部分を消すことができます。フレーム*、秒、分単位で消す位置をずらすことができます。衛星放送やFM放送などを録音したMDの不要な部分を消すのに便利です。
* 1フレームは1/86秒です。

次のページへつづく

例）B曲の一部を消すとき





1 **MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NOを押す**

3 **⏮◁または▷⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「A-B Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

4 **⏮◁または▷⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、一部を消したい曲を選び、ENTER/YESを押す**

「―Rehearsal―」と「Point A ok?」が交互に表示され、A点までの数秒間をくり返し再生します。

5 **くり返し再生される音を聞きながら、⏮◁または▷⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、消したい部分の始点（A点）を選ぶ**

1/86秒（1f）*ずつ位置がずらせます。秒、分単位でずらしたいときは、◀◀または▶▶を押して、秒または分を点滅させてから、⏮◁または▷⏭を押します（または本体のMULTI JOGを回します）。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずらせます。

6 **A点を正しく再生していないときは、手順5をくり返す**

7 **A点を正しく再生しているときは、ENTER/YESを押す**

「Point B set」が表示され、B点を設定するための再生が始まります。

8 **再生を続けて、消したい部分の終点（B点）まで行き、ENTER/YESを押す**

「A-B Ers」と「Point B ok?」が交互に表示され、A-B間を消したつなぎ目の部分（A点までの数秒間とB点からの数秒間）をくり返し再生します。

9 **B点を正しく再生するまで、手順5をくり返す**

10 **ENTER/YESを押す**
「Complete!」が数秒間表示されて、A-B部分が消えます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す

曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（47ページ）。

ご注意

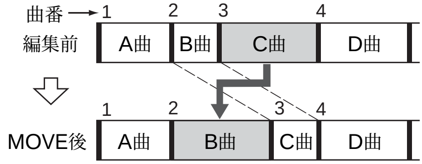
何度も編集をくり返すと、「Impossible」が表示され、曲の一部分を消すことができなくなる場合があります。これはMDのシステム上の制約で、故障ではありません。

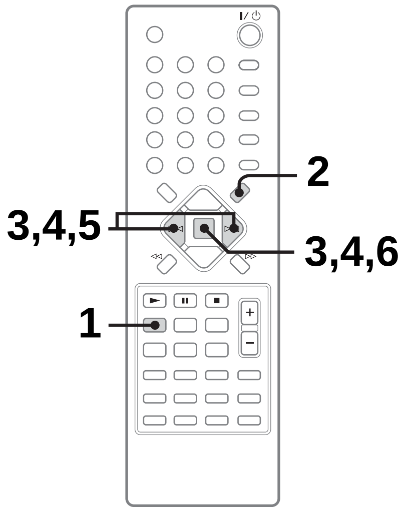
曲順を変える

（MOVE）

「Move」は、「動かす」という意味です。
曲を好きな位置に移動させて、曲順を変えられます。曲順を変えると、曲番も頭から順に付け直されます。

例）3曲目を2曲目に移動する





1 **MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える**

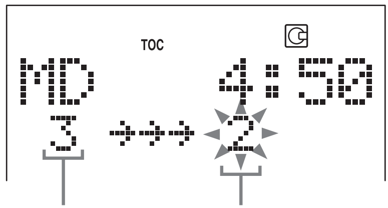
2 **MENU/NOを押す**

次のページへつづく

3 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Move?」を表示させ、ENTER/YESを押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）移動したい曲番を表示させ、ENTER/YESを押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）移動先の曲番を表示させる



移動させたい曲番　移動先の曲番

6 ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示され、移動した曲が再生されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲順を変える前の状態に戻す

曲順を変えたすぐあとなら、元の状態に戻せます（47ページ）。

ご注意

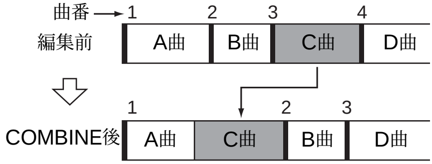
移動先の曲番がグループに属する場合、移動先のグループに登録され直します。また、グループ登録された曲の移動先の曲番がグループ登録されていなかった場合、移動した曲のグループ登録は解除されます。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲の移動はできません。

曲をつなぐ

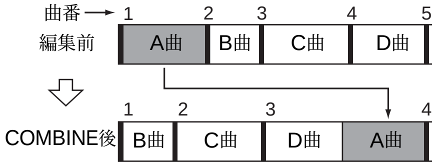
（COMBINE）

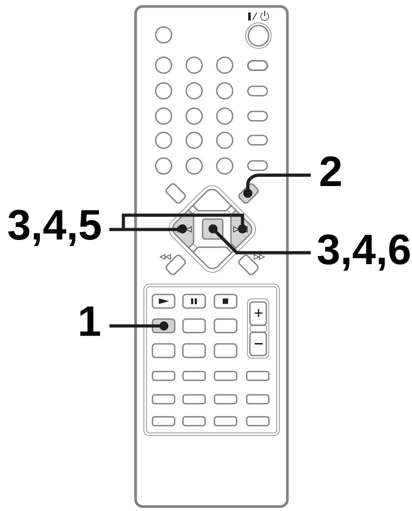
「Combine」は、「つなぐ」という意味です。2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭から順に付け直されます。

例）1曲目に3曲目をつなぐ



例）4曲目に1曲目をつなぐ





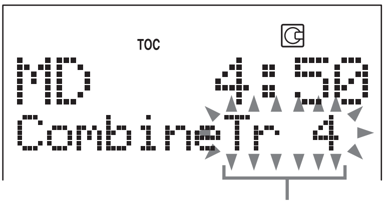
1 MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NOを押す

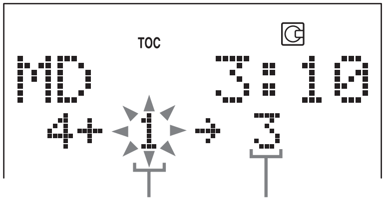
3 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Combine?」を表示させ、ENTER/YESを押す

4 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）先につなぎたい曲の曲番を表示させ、ENTER/YESを押す

例）曲番4に1をつなぐときは、4を選びます。



5 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）後につなぎたい曲の曲番を表示させる



6 ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、つながった曲の再生が始まります。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

2つの曲を1つにする前の状態に戻す

曲をつないだすぐあとなら、元の状態に戻せます（47ページ）。

また、DIVIDE機能を使って元に戻すこともできます（46ページ）。

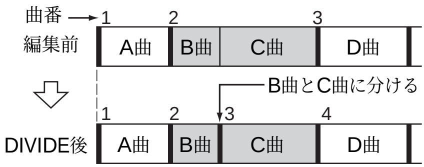
ご注意

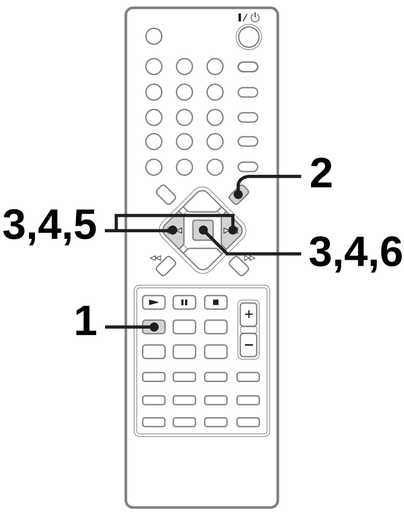
- 別々のグループに登録された2つの曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲が属するグループに登録され直します。また、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の属性と同じになります。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲をつなぐことはできません。
- 録音モード（ステレオ、LP2ステレオ、LP4ステレオ、モノラル）が同じ曲としかつなぐことができません。
- つないだ2曲の両方に曲名が付いているときは、後ろの曲名が消えます。
- 何度も編集をくり返すと、「Impossible」が表示され、曲の一部分を消すことができなくなる場合があります。これはMDのシステム上の制約で、故障ではありません。

曲を分ける
（DIVIDE）

「Divide」は「分ける」という意味です。
録音した後で曲番を付けるときに使います。また、テープやラジオから録音し、曲番が自動的に付かず、頭出しをしたいときにも使います。分けた曲以降の曲番は、頭から順に付け直されます。

例）2曲目を2つに分ける





1 MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NOを押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Divide?」を表示させ、ENTER/YESを押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、分けたい曲を選び、ENTER/YESを押す

「—Rehearsal—」が表示され、分ける部分がくり返し再生されます。

5 くり返し再生される音を聞きながら、⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、曲を分ける位置を調節する

1/86秒（1f）*ずつ位置がずらせます。
秒、分単位でずらしたいときは、◀◀または▶▶を押して、秒または分を点滅させてから、⏮または⏭を押します（または本体のMULTI JOGを回します）。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずらせます。

6 分けるところを正しく再生していたら、ENTER/YESを押す

「Complete!」と数秒間表示されて、曲が分かれ、分かれたところから再生が始まります。

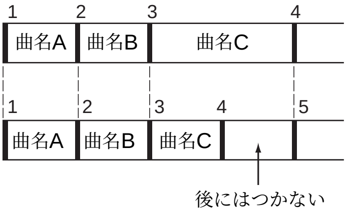
途中でやめる
MENU/NOを押す。

曲を2つに分ける前の状態に戻す
曲を分けたすぐあとなら、元の状態に戻せます（47ページ）。
また、COMBINE機能を使って元に戻すこともできます（44ページ）。

ご注意

曲名を付けた（33ページ）曲をDivideして2つの曲に分けると、前の方の曲にのみ、その曲名が付きます。

例）



- 曲の先頭または最後では曲を分けることはできません。
- 曲を分ける位置（ポジション）に曲の先頭または最後が指定されたときは「Impossible」と表示されます。⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、位置を変更してください。

ひとつ前の編集操作を取り消す

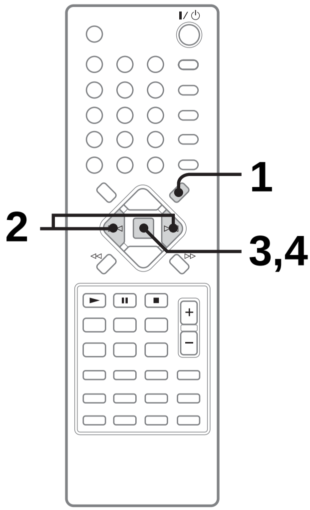
（UNDO）

最後に行った編集操作を取り消し、その前のMDの内容に戻します。

ただし、編集後に次のいずれかの操作をすると取り消せません。

- 他の編集作業をする。
- 録音の操作をする。
- 電源を切ったり、MDを取り出したりして、編集した内容を記録する。
- 電源プラグをコンセントから抜く。

また、S.F EDIT機能を使った編集は、UNDO機能を使っても元の状態に戻すことはできません。



1　停止中、MENU/NOを押す

次のページへつづく

2 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Undo?」を表示させる

取り消せる編集操作がないときは、「Undo?」は表示されません。

3 ENTER/YESを押す

最後に行った編集操作に応じて、次のメッセージが表示されます。

編集操作	メッセージ
ディスク名や曲名を付ける	「Name Undo?」
付けた名前を消す	「Name Undo?」
新しいグループを作る	「Group Undo?」
1グループずつ解除する	「Group Undo?」
全グループを1度に解除する	「Group Undo?」
曲の一部分を消す	「Erase Undo?」
1曲を消す	「Erase Undo?」
全曲を消す	「Erase Undo?」
曲順を変える	「Move Undo?」
1つの曲を2つに分ける	「Divide Undo?」
2つの曲を1つにする	「Combine Undo?」

4 もう一度、ENTER/YESを押す

「Complete!」と数秒間表示されて、編集前のMDの内容に戻ります。

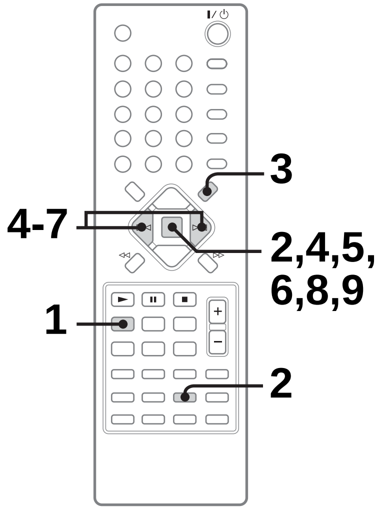
途中でやめる

MENU/NOを押す。

録音後に録音レベルを変更する

（S.F EDIT）

録音済みの曲の音声レベルを変更することができます。もとの曲は新しい録音レベルで上書きされます。また、フェードイン・フェードアウトを使うと、曲の頭が次第に大きく再生される曲や、曲の最後が次第に小さく再生される曲を作ることができます。



1曲全体の録音レベルを変更する

1 MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押し、「SHUF」または「PGM」を消して、ノーマル再生にする

3 MENU/NOを押す

4 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「S.F Edit?」を表示させ、ENTER/YESを押す

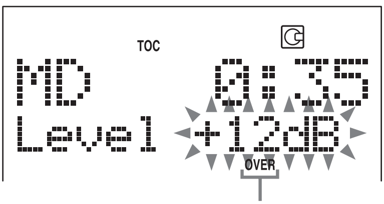
5 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Tr Level?」を表示させ、ENTER/YESを押す

6 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）録音レベルを変更したい曲番を表示させ、ENTER/YESを押す

「Level 0dB」が表示されます。

7 再生される音を聞きながら、|◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、録音レベルを変更する

－12dBから＋12dBの範囲内（2dB単位）で変更できます。一番大きい音のとき、表示窓に「OVER」が点灯しないようにします。



「OVER」が点灯しないように調節する

8 ENTER/YESを押す

「S.F Edit OK?」が表示されます。

9 もう一度、ENTER/YESを押す

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「S.F Edit：＊＊%」が表示されます。
曲の書き換えには、その曲の再生時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。書き換えが終わると、「Complete!」が表示されます。

途中でやめる

手順4から8の途中でMENU/NOを押す。

フェードイン・フェードアウトする曲を作る

1 MDを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをMDに切り換える

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押し、「SHUF」または「PGM」を消してノーマル再生にする

3 MENU/NOを押す

4 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「S.F Edit?」を表示させ、ENTER/YESを押す

5 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「Fade In?」または「Fade Out?」を表示させ、ENTER/YESを押す

次のページへつづく

6 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）フェードインまたはフェードアウトさせたい曲番を表示させ、ENTER/YESを押す

「Time5.0s」が表示されます。

7 再生される音を聞きながら、⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、フェードインまたはフェードアウトする時間を調節する

フェードインまたはフェードアウトされる部分がくり返し再生されます。
1秒から15秒の間（0.1秒単位）で調節できます。その曲の再生時間を超えた設定はできません。

8 ENTER/YESを押す

「S.F Edit OK?」が表示されます。

9 もう一度、ENTER/YESを押す

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「SF Edit：＊＊%」が表示されます。書き換えが終わると、「Complete!」が表示されます。

途中でやめる

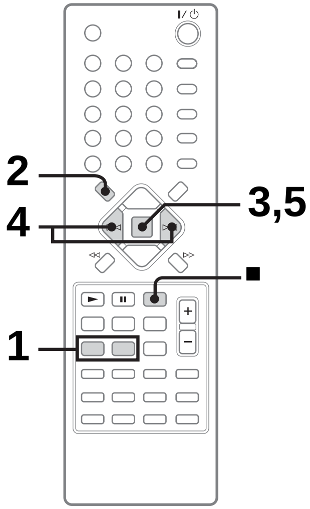
手順4～8の途中でMENU/NOを押す。手順9でENTER/YESを押して書き換えが始まると、操作を途中でやめることはできません。

ご注意

- 曲の書き換え中に本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が破損し、正しく記録されません。
- 傷や汚れのあるディスクは使用しないでください。録音情報が正しく記録されないことがあります。
- 録音レベルを何度も変更すると音質が劣化します。
- 録音レベルを変更した曲を再び元のレベルに戻しても、完全に元の録音レベルには戻りません。
- タイマーが働いているときは、録音レベルを変更できません。
- 録音レベルを変更した曲は、UNDO機能を使って元の状態に戻すことはできません。
- MDLP録音した曲の録音レベルを変更することはできません。

ラジオ局を記憶させる

FM放送とAM放送を合わせて32局まで記憶（プリセット）させることができます。聞くときは、プリセット番号を選ぶだけで選局できます。



自動受信してプリセットする

地域で受信できるラジオ局を自動的に選び、記憶させることができます。

1　AMまたはFMを押して（または本体のTUNER/BANDをくり返し押して）、「AM」か「FM」を選ぶ

2　SETUPをくり返し押して、「AUTO PRESET?」を表示させる

3　ENTER/YESを押す

地域名が表示されます。

4　|◁◁または▷▷|を押して（または本体のMULTI JOGを回して）、お住まいの地域名を選ぶ

押すたびに次のように変わります。

「カントウコウシンエツ」（関東甲信越）→
「トウホク」（東北）→
「ホッカイドウ」（北海道）→
「キュウシュウ」（九州）→
「シコク」（四国）→
「チュウゴク」（中国）→
「キンキ」（近畿）→
「チュウブ」（中部）

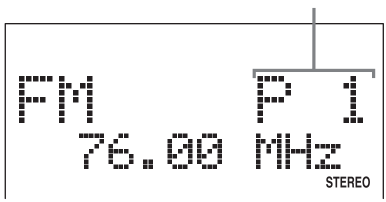
5　ENTER/YESを押す

周波数表示が変わっていきます。ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「Auto Set」とプリセット番号が表示され、ラジオ局が記憶されます。プリセットが終了すると、「Complete!」が表示され、最初にプリセットしたラジオ局を受信します。

本機にあらかじめ登録されているラジオ局名（100～102ページ）と受信周波数が一致した場合は、そのラジオ局名も記憶されます。

自動受信を途中でやめるには、■を押します。

プリセット番号

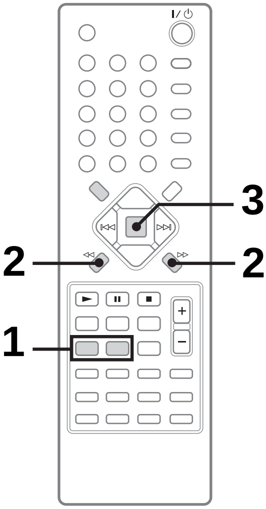


6　手順1～5をくり返して、登録していないほうのバンドのラジオ局をプリセットする

次のページへつづく

手動受信してプリセットする

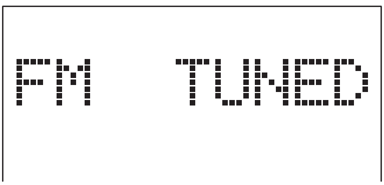
周波数をあわせて、好きなラジオ局を記憶させることができます。



1 **AMまたはFMを押して（または本体のTUNER/BANDをくり返し押して）、「AM」か「FM」を選ぶ**

2 **◀◀または▶▶を長く押す**

周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」と「STEREO」（ステレオ放送のときのみ）が表示されます。



「TUNED」が出ずに止まらないときは、◀◀または▶▶をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

3 **ENTER/YESを押す**

プリセット番号が点灯して、ラジオ局が記憶されます。

4 **手順1～4をくり返し、ラジオ局を記憶させていく**

その他の操作

こんなときは	操作
電波の弱いラジオ局を受信する	「手動受信してプリセットする」の手順で受信する。
プリセット登録を消す	登録を消したいプリセット番号を選びCLEARを押す。「CLEAR？」という表示とプリセット番号が点滅するので正しければENTER/YESを押してください。プリセットを消した場合、後ろのプリセット番号がくり上がります。

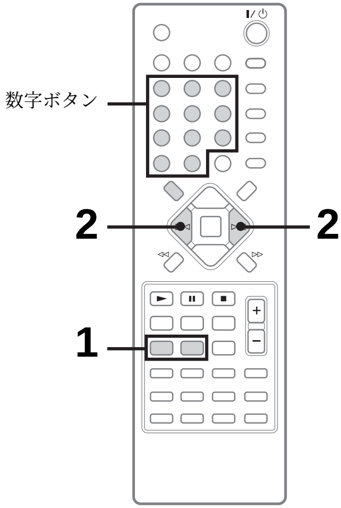
ちょっと一言

- 停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。
- 記憶させたラジオ局に名前を付けることができます（54ページ）。
- FMステレオ放送受信中、雑音が多いときはFM MODEを押して「TUNER MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。
- FM放送でテレビの音（1～3チャンネル）をプリセットすることもできます。放送局をFMにして、プリセットしたいテレビチャンネルの周波数に合わせます。ステレオ放送はモノラル音声を、2ヵ国語放送は主音声を受信します。

チャンネル	周波数（MHz）
1チャンネル	95.75
2チャンネル	101.75
3チャンネル	107.75

ラジオを聞く

好きなラジオ局をあらかじめ本機に記憶させて聞くことができます（プリセット受信）。
また、周波数を合わせて記憶させていないラジオ局を聞くこともできます（マニュアル受信）。



記憶させたラジオ局を聞く（プリセット受信）

あらかじめ本機にラジオ局を記憶させておきます（51ページ）。

1 **AMまたはFMを押して（または本体のTUNER/BANDをくり返し押して）、「AM」か「FM」を選ぶ**

2 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ**

プリセット番号を選ぶ

数字ボタンで聞きたいラジオ局のプリセット番号を押す。
10以降を選ぶには、>10を押してからプリセット番号を押します。0を選ぶには、10/0を押します。

ラジオ

次のページへつづく

周波数を合わせてラジオを聞く（マニュアル受信）

1 AMまたはFMを押して（または本体のTUNER/BANDをくり返し押して）、「AM」か「FM」を選ぶ

2 ◀◀または▶▶をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる

消音する

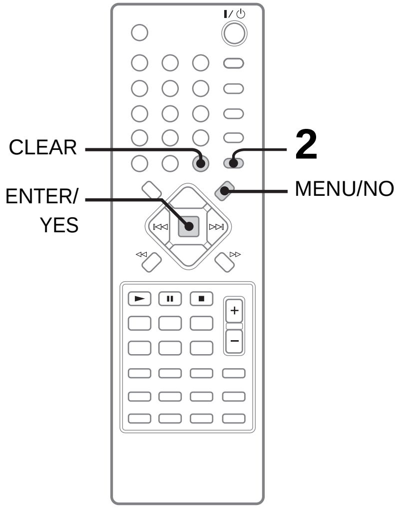
MUTINGを押します。もう一度MUTINGを押すか本体のVOLUMEを右に回すと音が出ます。

ちょっと一言

- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。
  それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（79ページ）。
- FMステレオ放送受信中、雑音が多いときはFM MODEを押して「TUNER MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。
- 「周波数を合わせてラジオを聞く」の手順2で◀◀または▶▶を長押しすると、周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります（自動受信）。
- ラジオを録音したいときは「CD/テープ/ラジオの好きな部分から録音する」（25、58ページ）をご覧ください。

記憶させたラジオ局に名前を付ける

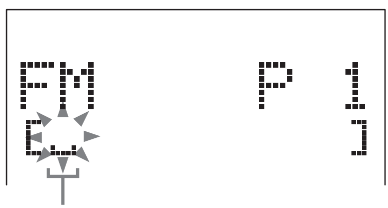
最大10文字まで名前を付けられます。名前はプリセット受信したときに表示されます。



1 名前を付けたいラジオ局をプリセット受信する（「ラジオを聞く」（53ページ））

2 NAME EDIT/SELECTを押す

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。



3 「ディスク名や曲名、グループ名を付ける」（33ページ）の手順3～6の操作を行う

途中でやめる

MENU/NOを押す。

付けた名前を消す

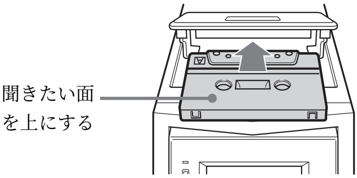
1 名前を消したいラジオ局をプリセット受信する。
2 NAME EDIT/SELECTを押す。
3 CLEARをくり返し押して名前を消す。
4 ENTER/YESを押す。

ちょっと一言

本体のMULTI JOGを回しても、ラジオ局名または「USER Title?」を選ぶことができます。

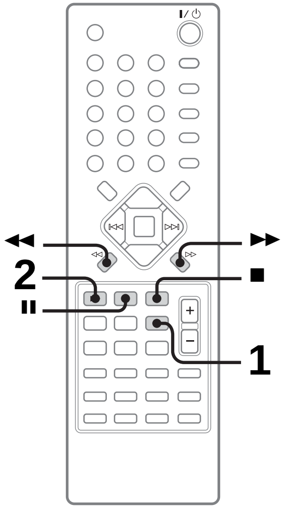
テープを入れる

本体の⏏PUSH EJECTを押してテープを入れる



テープを聞く

本機はTYPE I（ノーマル）のテープにのみ対応しています。



1 TAPEを押して、ファンクションをTAPEに切り換える

2 ▶（または本体のTAPE▶）を押す

上の面の再生が始まります。反対面を聞くには、テープを裏返してください。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
早送りまたは巻き戻しする	◀◀または▶▶を押す。
消音する	MUTINGを押す。もう一度MUTINGを押すか本体のVOLUMEを右に回すと、音が出ます。
テープを取り出す	本体の⏏PUSH EJECTを押す。
音量を調節する	VOLUME +/–を押すか本体のVOLUMEを回す。

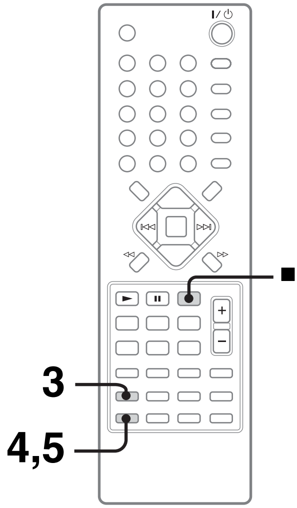
ちょっと一言

他の音源（ラジオなど）を聞いていても、テープがすでに入っているときは、TAPE▶を押すとファンクションがテープに切り換わり，再生が始まります（オートファンクション）。

ディスクを録音する

（シンクロ録音）

1枚のCDをそのままテープにアナログ録音できます。



1 本体の⏏PUSH EJECTを押して、録音用のテープを入れる

2 CDを入れる

3 SYNCHRO MODEをくり返し押して、「CD▶TAPE」を表示させる

4 REC PAUSE/STARTを押す

「Press START」が点滅します。
テープが録音一時停止に、CDは再生一時停止になります。

次のページへつづく

5 「Press START」が点滅しているのを確認してからREC PAUSE/STARTを押す

「REC MUTING」が点滅し、何も録音されないまま10秒間テープが走行したあと、録音が始まります。
選んだ曲すべての録音が終わると、CD、テープとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

CDからTAPEと同時にMDにも録音するには

録音用のMDを入れ、手順3で「CD▶MD/TAPE」を選びます。録音途中でMD、テープのどちらかが終わってしまっても、もう一方は録音を続けます。

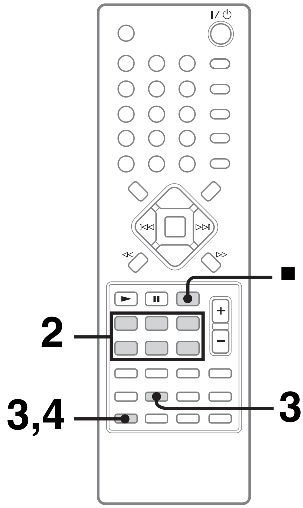
CDの好きな曲だけを録音するには

プログラム機能を使って、好きな曲を選んでから録音することもできます。手順2と3のあいだで「好きな順に再生する」（13ページ）の手順1～5の操作を行います。

CD、MD、ラジオの好きなところから録音する

（マニュアル録音）

CDやMD、ラジオからお好みに応じて録音ができます。例えば、CDやMDの好きな部分だけを録音することができます。



1 録音用のテープを入れる

2 録音したい音源のボタンを押して（または本体のFUNCTIONをくり返し押して）、録音したい音源を表示させる

- CD：本機のCDの音を録音する
- MD：本機のMDの音を録音する
- FMまたはAM：本機のラジオの音を録音する
- AUX：別売りの機器をつなぐ（77ページ）

3 REC MEDIA SELECTをくり返し押して、「REC TAPE」を表示させ、REC PAUSE/STARTを押す

テープが録音一時停止になります。

4 REC PAUSE/STARTを押してから録音したい音源の再生ボタンを押す

録音が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
録音を止める	■を押す。
録音を一時停止する	REC PAUSE/STARTを押す。 もう一度押すと録音が再開されます。

同時にMDにも録音するには

録音用のMDを入れ、手順3で「REC►MD/TAPE」を表示させせます。録音途中でテープ、MDのどちらかが終わってしまっても、もう一方は録音を続けます。

曲と曲の間に無音部分を作る

曲と曲の間に4秒間の無音部分を作ることができます。

1 録音中または録音一時停止中にREC MUTINGを押す。
「REC MUTING」が点滅し、何も録音されないまま4秒間テープが走行したあと、録音一時停止になります。
2 REC PAUSE/STARTを押す。
再び録音が始まります。

4秒以上の無音部分を作るには

録音一時停止になったら、もう一度REC MUTINGを押す。
4秒間の無音部分が追加されます。

無音部分を4秒以下にするには

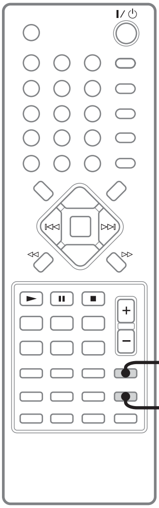
「REC MUTING」が点滅中に、もう一度REC MUTINGを押す。
再び録音が始まります。

ご注意

MDとテープに同時に録音中は、REC MUTINGは働きません。

好みの音にする

低音や高音を調節したり、迫力のある音にできます。



低音を強調する

i-Bassをくり返し押して（または本体のSOUNDを押してi-Bassを選択し、MULTI JOGを回して）「i-Bass ON」を選ぶ

押すたびに次のように変わります。

i-Bass ON ↔ i-Bass OFF

サウンド効果を楽しむ

EQをくり返し押して（または本体のSOUNDを押してEQを選択し、MULTI JOGを回して）、サウンド効果を選ぶ

押すたびに次のように変わります。

→ FLAT
↓
HIP HOP
↓
TECHNO
↓
VOCAL
↓
CAFE
↓
HEAVY（FLATに戻る）

HIP HOP	低音と高音を増強し、リズム楽器を強調したサウンド。ヒップホップ等リズミカルな音楽に適しています。
TECHNO	テクノミュージック等の電子音楽に合うように、中音を抑え、低音と高音を大きく増強しています。
VOCAL	中音を増強したボーカルが響くサウンド。ポップス等の歌謡曲に適しています。
CAFE	高音と低音をやや増強、ボサノバ、ジャズ等のアコースティック楽曲を穏やかに奏でます。
HEAVY	高音と低音を大きく増強し重低音を響かせたサウンド。ロックやヘビメタ等のダイナミックな音に適しています。

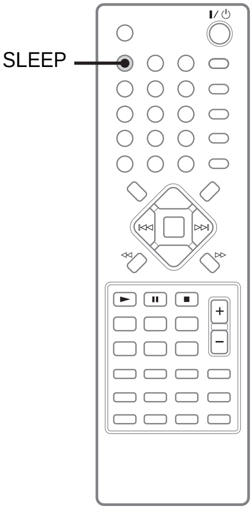
サウンド効果を消す

EQをくり返し押して、「FLAT」を表示させる。

音楽を聞きながら眠る

（スリープタイマー）

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分単位で設定できます。



SLEEPを押す

押すたびに時間が次のように変わり、しばらくすると元の表示に戻ります。表示された時間がたつと、電源が切れます。

→SLEEP OFF（スリープ解除）→ AUTO* → 90 → 80 → … → 10 →（SLEEP OFFに戻る）

* 再生中のCDやMD、テープが終了すると、自動的に電源が切れます。ただし、100分たつとCDやMD、テープの再生中でも自動的に電源が切れます。

こんなときは	操作
残り時間を確認する*	SLEEPを1回押す。ただし、「AUTO」設定時は表示されません。
途中で時間を変える	SLEEPを押して、時間を選び直す。
スリープタイマーを解除する	SLEEPをくり返し押して、「SLEEP OFF」を表示させる。

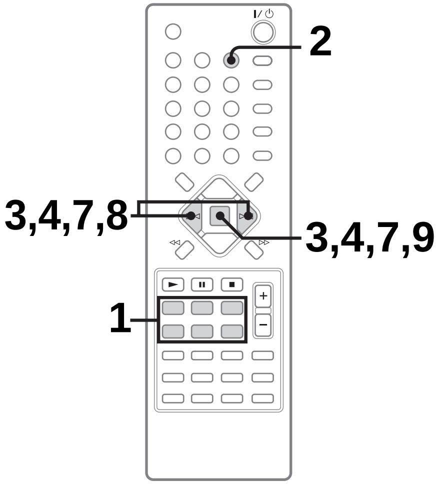
ご注意

MDやテープにシンクロ録音するときは「AUTO」に設定しないでください。

目覚ましとして使う

（ウィークリータイマー）

指定した曜日、時刻に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。ウィークリータイマー録音（62ページ）と合わせて、3つの異なる設定をすることができます。操作の前に、時計を合わせておきます（9ページ）。



1 **CDなどの音源を準備する**

- CD：CDを入れる。好きな曲から再生したいときはプログラムする（13ページ）。
- MD：MDを入れる。好きな曲から再生したいときはプログラムする（17ページ）。
- テープ：カセットテープを入れる。
- ラジオ：プリセット受信する（53ページ）。
- AUX：別売りの機器をつなぐ（77ページ）。

2 **TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」のいずれかを選ぶ**

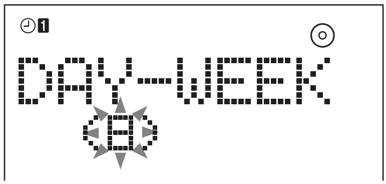
3 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「PLAY」を表示させ、ENTER/YESを押す**

「曜日」が点滅します。

連続した曜日を設定するときは、「～」を選びます。

（例）月曜から土曜まで毎日：

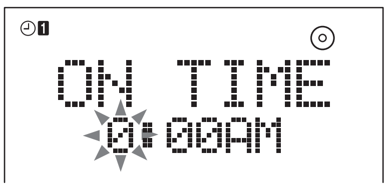
（月）～（土）



4 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「曜日」を合わせ、ENTER/YESを押す**

「時」が点滅します。

（正午は0：00PM、真夜中は0：00AMです。）



5 開始時刻を合わせる

⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「時」を合わせ、ENTER/YESを押す。
「分」が点滅します。
⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「分」を合わせ、ENTER/YESを押す。
再び「時」が点滅します。

6 終了時刻を合わせる

手順5と同じ操作をして「時」、「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

7 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、音源を選び、ENTER/YESを押す

押すたびに次のように変わります。

→ MD → CD → TUNER → TAPE → AUX →（MDに戻る）



「TUNER」を選んだときは、タイマー設定時に受信していたラジオ局が受信されます。

8 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、タイマー開始時の音量を設定する

9 ENTER/YESを押す

曜日設定、開始時刻、終了時刻、音源、音量の順に表示され、元の表示に戻ります。

10 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

設定を確認する

1 TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」の中から確認したい設定を選ぶ。
2 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「TIMER PLAY」を表示させる。
しばらくすると、登録した内容が順に表示され、元の表示に戻ります。

タイマーを止める

1 TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」の中から働かせたくない設定を選ぶ。
2 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「TIMER OFF」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ご注意

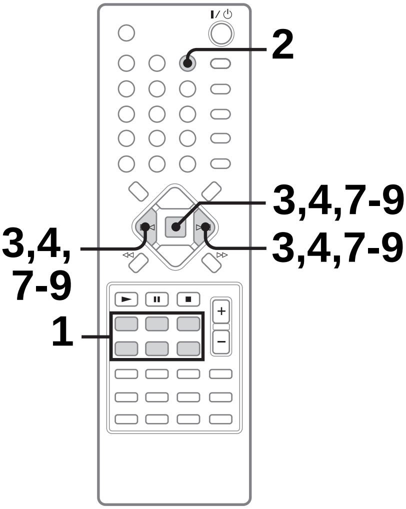
- ウィークリータイマーが働いているときにスリープタイマーを使用した場合は、スリープタイマーが優先されます。
- 録音タイマーと設定時間が1分以上重なっている場合は録音タイマーが優先され、ウィークリータイマーは働きません。
- 「TIMER 1」、「TIMER 2」、「TIMER 3」を同時に使用した場合は、数字の小さい順に優先されます。
- 電源は開始時刻の約15秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 手順1で別売りの機器を選んだときは、本機でウィークリータイマーを設定したあと、つないだ別売りの機器でもタイマーが同じ時刻に働くように設定してください。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

タイマーを使って録音する

（録音タイマー）

本機のラジオや、アナログ入力端子につないだ外部機器からタイマー録音ができます。ウィークリータイマー（62ページ）と合わせて、3つの異なる設定をすることができます。

あらかじめラジオ局を記憶させ（51ページ）あるいは外部機器を接続しておき（77ページ）、時計を合わせておきます（9ページ）。



1 録音したい音源を準備する

- ラジオ：プリセット受信する（53ページ）
- AUX：別売りの機器をつなぐ（77ページ）

2 TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」のいずれかを選ぶ

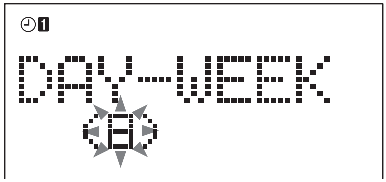
3 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「TIMER REC」を表示させ、ENTER/YESを押す

「曜日」が点滅します。

連続した曜日を設定するときは、「～」を選びます。

（例）月曜から土曜まで毎日：

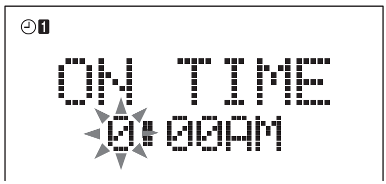
（月）～（土）



4 |◁◁または▷▷|をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「曜日」を合わせ、ENTER/YESを押す

「時」が点滅します。

（正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。）



5 開始時刻を合わせる

I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して)、「時」を合わせ、ENTER/YESを押す。
「分」が点滅します。
I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して)、「分」を合わせ、ENTER/YESを押す。
再び「曜日」または「時」が点滅します。

6 終了時刻を合わせる

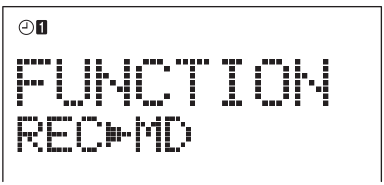
手順4と5と同じ操作をして（「曜日」）「時」、「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

7 I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して)、録音する音源を選び、ENTER/YESを押す

「TUNER」を選んだときは、タイマー設定時に受信していたラジオ局が録音されます。

8 I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して)、「REC▶MD」か「REC▶TAPE」のいずれかを選び、ENTER/YESを押す

（例）MDを選んだとき



9 MDに録音するときはI◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して)、録音モード（LP2など）を選び、ENTER/YESを押す

プリセットした内容が表示されて、元の表示に戻ります。

10 録音用のMDまたはテープを入れる

録音済みのMDの場合、録音済みの曲のあとに録音されます。
テープは上の面から録音されます。録音したい面を上にして入れてください。

11 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

設定を確認する

1 TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」の中から確認したい設定を選ぶ。

2 I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して)、「TIMER REC」を表示させる。
しばらくすると、登録した内容が順に表示され、元の表示に戻ります。

タイマー録音を止める

1 TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」の中から働かせたくない設定を選ぶ。

2 I◁◁または▷▷Iをくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して)、「TIMER OFF」を表示させ、ENTER/YESを押す。

次のページへつづく

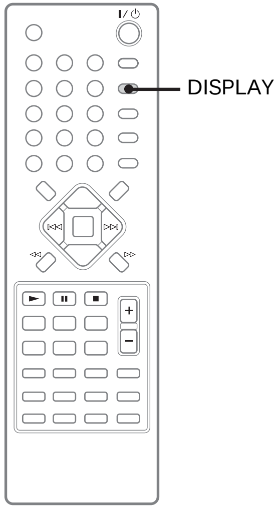
ご注意

- 録音タイマーが働いているときにスリープタイマーを使用した場合は、スリープタイマーが優先されます。
- ウィークリータイマーと設定時間が1分以上重なっている場合は録音タイマーが優先され、ウィークリータイマーは働きません。
- 「TIMER 1」、「TIMER 2」、「TIMER 3」を同時に使用した場合は、数字の小さい順に優先されます。
- 電源は開始時刻の約40秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまで、「Welcome」と「VOLUME」が交互に表示されますが、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 開始時刻の約40秒前にすでに電源が入っていると、録音タイマーが働かず録音されません。
- 録音中、ボリュームは最小になります。
- MDに録音するときに、グループ機能を働かせてタイマー録音を設定した場合、グループを指定していなければ、新しいグループを作って録音します。
- ウィークリータイマーの音源をテープにしているとき、同時に録音タイマーを設定すると、テープに録音されることがあります。
- タイマー録音時はMDにラジオ局名は記録されません。
- 別売りの機器から録音するときは、本機でウィークリータイマー録音を設定したあと、つないだ別売りの機器でもタイマーが同じ時刻に働くように設定してください。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

表示窓の表示を消す

（節電モード）

表示窓の時計表示を消して、電源を切った状態での消費電力を最低限におさえることができます（節電モード）。



電源を切った状態でDISPLAYをくり返し押して、デモ表示または時計表示を消す

節電モードに切り換わります。

節電モードを解除する

電源を切った状態で、DISPLAYを押す。押すたびに表示窓が次のように切り換わります。

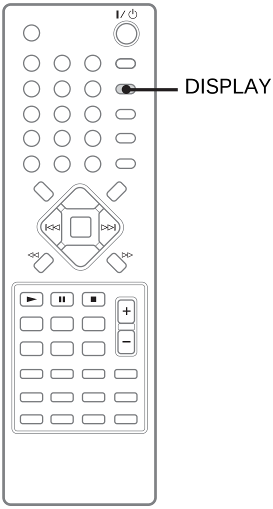
→時間表示
↓
非表示（節電モード）
↓
DEMO表示

ちょっと一言

節電モード時も、タイマーは働きます。

表示窓を使って残り時間や名前を見る

CDやMDの総曲数や、総演奏時間、1曲またはCDやMD全体の残り時間を調べたり、MDのディスク名、曲名、グループ名を調べたりできます。



ディスクの残り時間や名前を見る

再生中にDISPLAYを押す

押すたびに次のように変わります。

CD再生中

→ 再生中のトラック番号と経過時間
↓
再生中のトラック番号と残り時間
↓
ディスク全体の残り時間[1)]

MD再生中

→ 再生中の曲番と経過時間[2)]
↓
再生中の曲番と残り時間[2)]
↓
MD全体の残り時間[3)]
↓
曲名[4)]

1) シャッフル再生やプログラム再生中は表示されません。
2) グループ機能が働いているときは、再生中のグループ番号とトラック番号が表示されます。
3) グループ機能が働いているときは、グループ内の全曲の残り時間が表示されます。
4) 曲名が付いていないときは、表示されません。

ディスクの総再生時間を見る

停止中にDISPLAYを押す

押すたびに次のように変わります。

CD停止中

総曲数と総再生時間

MD停止中

→ 総曲数と総再生時間[5)]
↓
MDの残り時間（録音用MDのときのみ）
↓
ディスク名と総再生時間[6)]

5) グループ機能が働いているときは、総グループ数（グループ未選択時）またはグループ内の総曲数および総再生時間（グループ選択時）が表示されます。MDの合計再生時間が1,000分を超えたときは、「−−−.−−」と表示されます。
6) ディスク名が付いていないときは、表示されません。グループ機能が働いているときは、グループ名が表示されます。

次のページへつづく

ラジオ局名を見る（ラジオ）

受信中にDISPLAYを押す

押すたびに次のように変わります。

→ ラジオ局名[7]
↓
プリセット番号と周波数

[7] 名前をつけていない場合は、表示されません。

長い名前をスクロール表示する

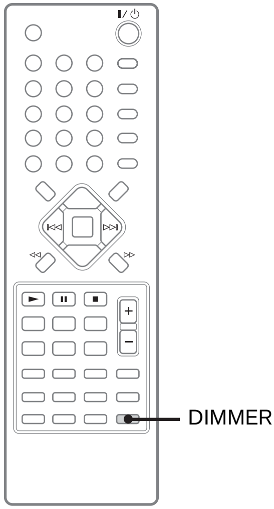
SCROLLを押す。
表示窓に名前が横に流れます（スクロール）。表示中にもう一度SCROLLを押すとスクロールが停止します。

ちょっと一言

- 再生中にいつでも曲名を見ることができます。スクロールを押すと曲名全体が表示窓にスクロールして表示されます。
- MDにディスク名や曲名、グループ名を付けたいときは「ディスク名や曲名、グループ名を付ける」（33ページ）をご覧ください。
- ラジオ局に名前を付けたいときは「記憶させたラジオ局に名前を付ける」（54ページ）をご覧ください。

表示窓の明るさを変える

電源が入っている状態のときと、電源が切れている状態のときの、それぞれの表示窓の明るさを変えることができます。



電源が入っている状態のとき表示窓を暗くする

1 **電源が入っている状態で、DIMMERをくり返し押して、「DIMMER ON」を選ぶ**

DIMMERを押すごとに次のように変わります。

DIMMER ON ←→ DIMMER OFF

表示窓を明るくする

「DIMMER OFF」を選ぶ。

電源が切れている状態のとき表示窓を明るくする

1 **電源が切れている状態で、DIMMERをくり返し押す**

DIMMERを押すごとに次のように変わります。

OFF-LIGHT 1 → OFF-LIGHT 2 → OFF-LIGHT OFF

「OFF-LIGHT 1」より「OFF-LIGHT 2」のほうが明るいです。

表示窓を暗くする

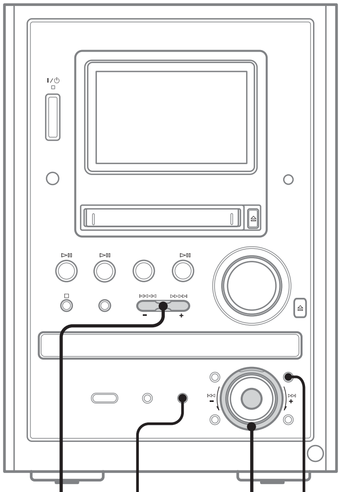
「OFF-LIGHT OFF」を選ぶ。

ご注意

電源が切れている時の表示がDEMOモードになっている場合、DIMMERを押すと時計表示モードに切り換わります。

表示窓の色を変える

表示窓の色をお好みで変えることができます。



1 **本体のCOLORをくり返し押して、「COLOR PRESET」か「COLOR AUTO」、「COLOR MANUAL」、「COLOR INITIAL」、のいずれかを選ぶ**

COLOR PRESET	本機にあらかじめ登録されている28色から選びます。
COLOR AUTO	本機にあらかじめ登録されている8パターンから選びます。
COLOR MANUAL	手動で設定します。
COLOR INITIAL	お買い上げ時の設定です。

表示

次のページへつづく

「COLOR INITIAL」を選んだときは
手順3に進む。

2 手順1で選んだ項目によって、以下のように操作する

「COLOR PRESET」を選んだとき
本体のMULTI JOGを回して設定したい色を表示させる。

「COLOR AUTO」を選んだとき
本体のMULTI JOGを回して設定したい項目を表示させる。
押すたびに次のように変わります。

RAINBOW（虹色に変化）
↓
FOREST（森をイメージした変化）
↓
HOT（暖炉のように暖かい色の変化）
↓
TERRA（自然をイメージした変化）
↓
NIGHT&DAY（1時間毎に変化（昼と夜の変化））
↓
24HOURS（1時間毎に変化（色の変化））
↓
EVERY DAY（曜日毎に変化）
↓
FUNCTION（各ファンクション毎と録音時に変化）
（FUNCTIONからRAINBOWに戻る）

「COLOR MANUAL」を選んだとき
ENTER/YESを押して色の選択画面を表示し、本体の⏮◀◀または▶▶⏭をくり返し押して、色（R/G/B）を選び、MULTI JOGを回して色の値を変える。
R＝赤（0〜7）
G＝緑（0〜7）
B＝青（0〜7）

3 ENTER/YESを押す

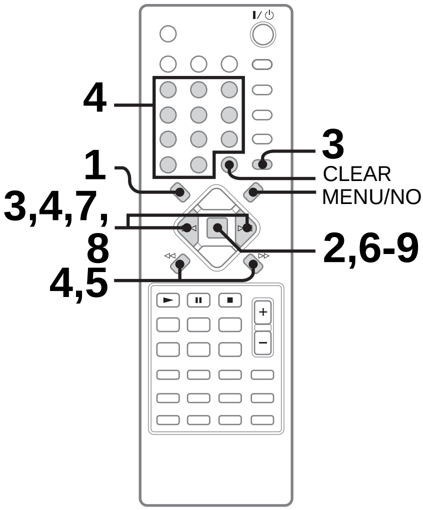
途中でやめる
MENU/NOを押す。

「COLOR PRESET」、「COLOR AUTO」、「COLOR MANUAL」をお買い上げ時の設定に戻す
手順2でリモコンのCLEARを押す。

誕生日にメッセージを表示する

（ユーザーネーム登録）

ご自分の名前と誕生日をあらかじめ登録しておくと、誕生日当日の電源を入れたときにメッセージが表示されます。あらかじめ時計を合わせておきます（9ページ）。



1 SETUPをくり返し押して、「USER NAME」を表示させる

2 ENTER/YESを押す

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。



3 NAME EDIT/SELECTを押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに次のように変わります。

「Selected AB」（アルファベット大文字）1)

→「Selected ab」（アルファベット小文字）1)

→「Selected ア」（カタカナ）2)

→「Selected 12」（数字）

→「Selected AB」（アルファベット大文字）1)

1) 数字ボタンの1をくり返し押すと、以下の記号を表示できます。
´ –/,. () :!?
また、記号が表示されているときにI◁◁または▷▷Iをくり返し押すと（または本体のMULTI JOGを回すと）、さらに以下の記号を表示できます。
&+<>_=“;#$%@＊`

2) 通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツを表示できます。また、>10ボタンをくり返し押すと、濁点や半濁点など（゛゜ –,.）を表示できます。ただし、濁点（゛）は「ウ」、「カ／サ／タ／ハ行」、半濁点（゜）は「ハ行」の文字のあとにのみ入力できます。

次のページへつづく

4 入力したい文字に対応するアルファベット／数字／カタカナ入力ボタンを押す

アルファベット／カタカナを選んだとき

1 入力したい文字があるボタン（ABC、DEFまたはア（行）、カ（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。
⏮または⏭をくり返し押しても（または本体のMULTI JOGを回しても）、文字を切り換えることができます。

2 ▶▶を押す。
入力した文字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

数字を選んだとき

押したボタンの数字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

スペース（空き）を入力するには

1 NAME EDIT/SELECTを押して、「Selected AB」または「Selected ab」を選ぶ。

2 10/0を押す。
スペース（空き）が入力され、カーソルが次の位置で点滅します。

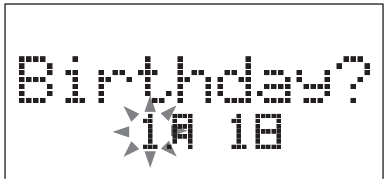
5 手順3と4をくり返して、名前を付ける

文字を変更するには

◀◀または▶▶をくり返し押して、変更したい文字を点滅させ、CLEARを押して文字を消してから手順3と4をくり返す。

6 ENTER/YESを押す

「月」が点滅します。



7 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「月」を合わせ、ENTER/YESを押す

「日」が点滅します。

8 ⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「日」を合わせ、ENTER/YESを押す

9 ENTER/YESを押す

「Complete!」が表示されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

名前や誕生日を変更する

手順1～9をくり返して、名前や誕生日を入力し直す。

名前や誕生日を消す

手順2で、CLEARをくり返し押して入力してある文字を全て消し、ENTER/YESを押す。自動的に誕生日も消えます。

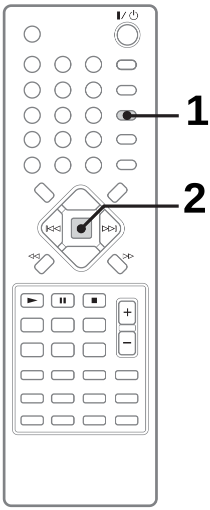
ちょっと一言

- 名前は最大9文字まで入力できます。
- 誕生日当日には、電源が切れている状態で本体のジョグインジケーターが緑色に点灯します。
ECO MODE時には点灯しません。

「TOPIC」を表示する

（今日は何の日機能）

スケジュール（74ページ）、誕生日（71ページ）が登録されている7日前、前日、当日以外の日に、あらかじめ登録されているメッセージを表示します（「2月14日　今日はバレンタインデー」など）。
お買い上げ時は「TOPIC」機能が働くよう設定されていますので、電源を入れたときに自動的に「TOPIC」が表示されます。あらかじめ時計を合わせておきます（9ページ）。



1 **AMUSEをくり返し押して、「TOPIC」を表示させる**
TOPICは電源が入った状態の時に表示されます。

今日は何の日のON/OFFを切り換えるには

SETUPをくり返し押して「今日は何の日？」を表示させ、⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）「ON」または「OFF」を選択し、ENTER/YESを押します。

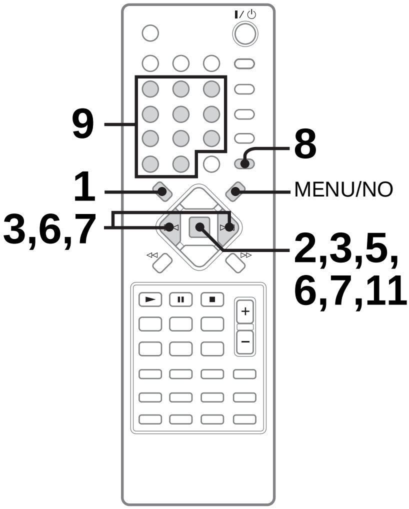
ご注意
- 本体のジョグインジケーターが緑色に点灯しているときは、誕生日またはスケジュールが表示され、「今日は何の日？」は表示されません。
- 何も表示されない日もあります。

その他の機能

SCHEDULEを表示する

（スケジュール機能）

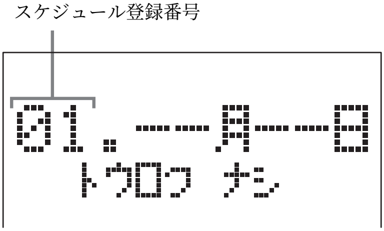
友人やご家族の誕生日、メモなどを最大30件まで登録できます。スケジュール登録しておくと、スケジュール登録日の7日前、前日、当日の電源を入れたときに、登録内容が表示されます。あらかじめ時計を合わせておきます（9ページ）。



1 **SETUPをくり返し押して、「SCHEDULE」を表示させる**

2 **ENTER/YESを押す**

スケジュール画面が表示されます。



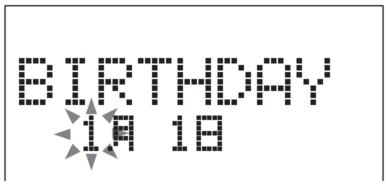
3 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、登録したいスケジュール登録番号を選び、ENTER/YESを押す**

4 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「1：BIRTHDAY?」または「2：SCHEDULE?」を表示させる**

5 **ENTER/YESを押す**

「月」が点滅します。

（例）



6 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「月」を合わせ、ENTER/YESを押す**

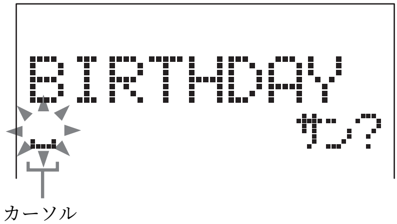
「日」が点滅します。

7 **⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「日」を合わせ、ENTER/YESを押す**

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。

手順4で「1：BIRTHDAY?」を選んだときは名前を、「2：SCHEDULE?」を選んだときはメモを入力します。

（例）



8 NAME EDIT/SELECTを押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに次のように変わります。
「Selected AB」（アルファベット大文字）1)
→「Selected ab」（アルファベット小文字）1)
→「Selected ア」（カタカナ）2)
→「Selected 12」（数字）
→「Selected AB」（アルファベット大文字）＊

1) 数字ボタンの1をくり返し押すと、以下の記号を表示できます。
´ –/,. () :!?
また、記号が表示されているときに⏮またはB⏭をくり返し押すと（または本体のMULTI JOGを回すと）、さらに以下の記号を表示できます。
&+<>_=“;#$%@＊`

2) 通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツを表示できます。また、>10ボタンをくり返し押すと、濁点や半濁点など（゛゜ –,.）を表示できます。ただし、濁点（゛）は「ウ」、「カ／サ／タ／ハ行」、半濁点（゜）は「ハ行」の文字のあとにのみ入力できます。

9 入力したい文字に対応するアルファベット／数字／カタカナ入力ボタンを押す

アルファベット／カタカナを選んだとき

1 入力したい文字があるボタン（ABC、DEFまたはア（行）、カ（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。
⏮または⏭をくり返し押しても（または本体のMULTI JOGを回しても）、文字を切り換えることができます。

2 ▶▶を押す。
入力した文字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

数字を選んだとき

押したボタンの数字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

スペース（空き）を入力するには

1 NAME EDIT/SELECTを押して、「Selected AB」または「Selected ab」を選ぶ。

2 10/0を押す。
スペース（空き）が入力され、カーソルが次の位置で点滅します。

10 手順8と9をくり返して、名前を付ける

文字を変更するには

◀◀または▶▶をくり返し押して、変更したい文字を点滅させ、CLEARを押して文字を消してから手順8と9をくり返す。

11 ENTER/YESを押す

スケジュールに登録されます。

次のページへつづく

12 スケジュール登録を続けるときは、手順3でスケジュール登録されていない番号を選び、手順11までくり返す

途中でやめる
MENU/NOを押す。

スケジュールを確認する
スケジュール画面で⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、確認したいスケジュールを表示させる。

スケジュールを消す

1 スケジュール画面で⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、消したいスケジュールを表示させる。

2 CLEARを押す。または、ENTER/YESを押してから⏮または⏭をくり返し押して（または本体のMULTI JOGを回して）、「3：CLEAR?」を選び、ENTER/YESを押す。
スケジュール登録番号と「CLEAR?」が表示されます。

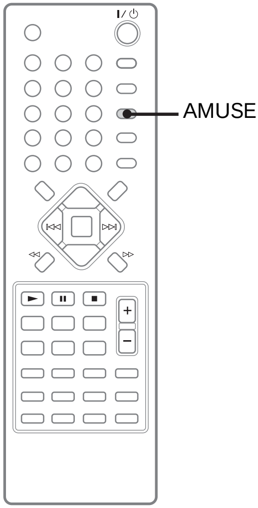
3 ENTER/YESを押す。

ちょっと一言
- スケジュール登録日の7日前、前日、当日には、本体のジョグインジケーターが緑色に点灯します。ランプが点灯しているときに電源を入れると、登録内容が表示されます。
- 名前は最大9文字、メモは最大12文字まで入力できます。
- スケジュール登録番号と登録の種類（誕生日/メモ）は、本体のMULTI JOGを回しても選ぶことができます。

FORTUNE

（占い機能）

今日の運勢を占うことができます。あらかじめ時計を合わせ（9ページ）、誕生日を入力しておきます（71ページ）。



電源が入った状態でAMUSEを押し、FORTUNEを選ぶ

「今日のウンセイ」とその日の総合運が点数で表示されます。総合運の最高は100ポイントです。

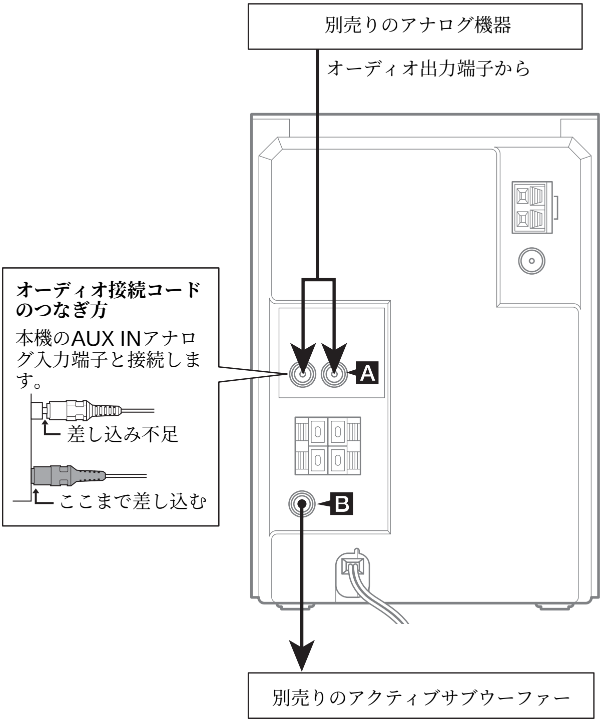
AMUSEボタンをくり返し押す

押すたびに表示が次のように変わります。

TOPIC
↓
SCHEDULE
↓
FORTUNE
↓
通常表示

別売り機器をつなぐ

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



A AUX INアナログ入力端子
別売りのオーディオ接続コードを使ってビデオデッキやレコードプレーヤーなどをつなぎます。

B SUB WOOFER出力端子
別売りのActive SUB WOOFERスピーカーにつなぎます。

別売り機器の音を本機のスピーカーで聞く

1 **オーディオ接続コードをつなぐ。**

「別売り機器をつなぐ」(77ページ)をご覧ください。

2 **AUXを押して(または本体のFUNCTIONをくり返し押して)、「AUX」を表示させる。**

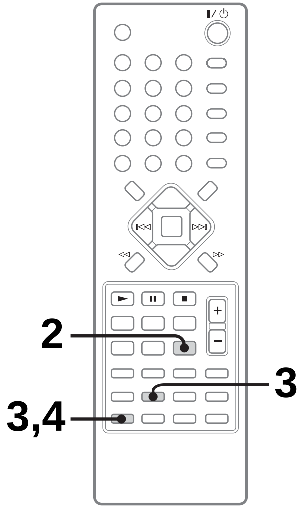
別売り機器の再生を始めてください。

ちょっと一言

イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、MM型またはMC型に対応のカートリッジイコライザー(別売り)をつないでください。
イコライザーアンプが内蔵されているかどうかや、MM型かMC型かについては、お使いになっているプレーヤーの製造元へお問い合わせください。

別売り機器と本機を使って録音する

本機で録音する



1 **電源を入れる**

2 **AUXを押して(または本体のFUNCTIONをくり返し押して)、「AUX」を表示させる**

3 **REC MEDIA SELECTをくり返し押して、「REC MD」か「REC TAPE」、「REC MD/TAPE」のいずれかを表示させ、REC PAUSE/STARTを押す**

本機のMD(またはテープ)が録音一時停止になります。
「REC MD」か「REC TAPE」、「REC MD/TAPE」が点滅します。

4 再度REC PAUSE/STARTを押す

5 つないだ機器の再生を始める

録音が始まります。
「REC MD」か「REC TAPE」、「REC MD/TAPE」が点灯します。

録音を止める

■を押す。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。
TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

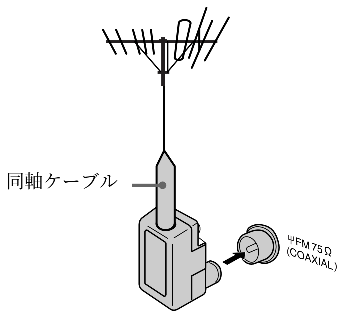
MDへの録音中に、曲番を付けたいところでENTER/YESを押すと、押したところに曲番が付きます。

市販の外部アンテナをつなぐ

付属のアンテナでうまく受信できないときにつなぎます。

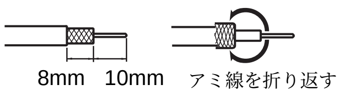
FMアンテナをつなぐ

市販のFM屋外アンテナを、市販の75Ω同軸ケーブルを使ってつなぎます。
同軸ケーブルを使うと、雑音の影響を受けにくくなります。同軸ケーブルは3C-2Vが適当です。
屋外アンテナの購入、取り付けについては、本機をお買い上げいただいた販売店へご相談ください。

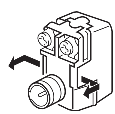


同軸ケーブルのつなぎかた

1 ケーブルの先端を処理する。



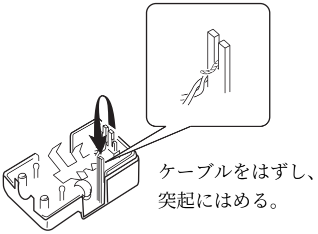
2 市販のアンテナコネクターのふたをはずす。



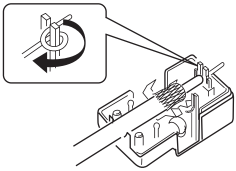
別売りの機器を使う

次のページへつづく

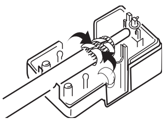
3 アンテナコネクター内のケーブルをはずし、突起にはめる。



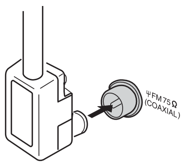
4 芯線を根元まで差し込んで巻きつける。



5 金具をペンチなどでしめつける。

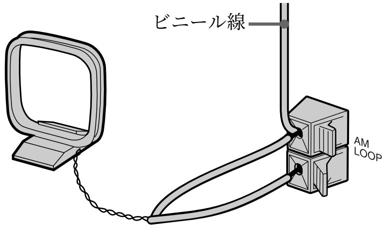


6 FMアンテナ端子へつなぐ。



AMアンテナをつなぐ

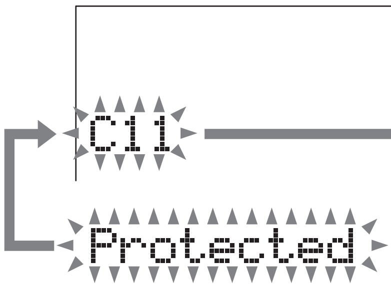
市販の6～15mのビニール線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。付属のAMループアンテナはつないだままにしておきます。



症状と原因

修理に出す前に、以下の手順にしたがって点検してください。

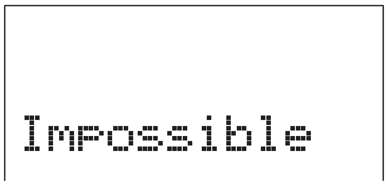
表示窓に3桁または5桁の表示とメッセージが交互に出ている



はい → 自己診断表示機能（89ページ）へ

いいえ ↓

表示窓にメッセージが出ている



はい → メッセージ一覧（90ページ）へ

いいえ ↓

次のページからの表を読んで、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにお問い合わせください。

次のページへつづく

共通

症状	原因と対応のしかた
電源プラグをコンセントに差し込むと、電源を入れていないのに表示窓が点灯する	デモ表示になっている。 ➔ 電源を切った状態でDISPLAYをくり返し押して、デモ表示を消す。
「ーー:ーー」が表示される	電源コードを抜いた、または停電などにより、時計の設定が解除されている。 ➔ 時計を設定し直す（9ページ）。
音が出ない	ボリュームが小さい。 ➔ VOLUME ＋を押すか、または本体のVOLUMEを右へ回して大きくする。
	ヘッドホンを差したままになっている。 ➔ ヘッドホンを抜く。
	スピーカーが正しく接続されていない。 ➔ スピーカーコードを正しく接続し直す（7ページ）。
	高速シンクロ録音中である。 ➔ 高速シンクロ録音中は音が出ない。
	MUTINGが設定されている。 ➔ MUTINGを解除する。
音がおかしい	左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。 ➔ 高さ、距離をできるだけ対称にする。
	付属のスピーカー以外のスピーカーをつないでいる。 ➔ 付属のスピーカーをつなぐ。
雑音が多い	テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。 ➔ 離れたところに設置する。
	冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。 ➔ 別の電源コンセントにつなぐ。 ➔ 電源ラインのノイズフィルター（市販）を使用する。
タイマーが設定できない	• 時計が設定されていない。 • 停電などにより、時計の設定が解除された。 ➔ 時計を設定し直す（9ページ）。
タイマーが働かない	電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。 ➔ TIMERを押して、表示窓に「◷」を点灯させる（62、64ページ）。
	誤った時間が設定されている。 ➔ 設定内容を確認し、正しい時間を設定する（63、65ページ）。
	スリープタイマーが働いている。 ➔ スリープタイマーを解除する（61ページ）。

症状	原因と対応のしかた
リモコンで操作できない	リモコンと本体の間に障害物がある。 ➔ 障害物を取り除く。
	リモコンと本体の距離が離れすぎている。 ➔ 近寄って操作する。
	リモコンの発光部が本体の方を向いていない。 ➔ リモコンの発光部を本体に向ける。
	リモコンの乾電池が消耗している。 ➔ 乾電池（単3）を交換する。
	本体の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。 ➔ 本体と蛍光灯を離して設置する。

CD

症状	原因と対応のしかた
ディスクトレイが閉まらない	ディスクがトレイの中央に入っていない。 ➔ トレイの中央にディスクを入れ直す。
	ディスクトレイを無理に押し込もうとした。 ➔ トレイは必ず本体のCD OPEN/CLOSE（または本体の⏏CD）を押して閉める。手で押し込もうとすると、故障の原因になります。
ディスクが出てこない	レンタルディスクや中古ディスクなどで、シールなどからのりがはみ出したり、のりが付着したディスクを入れたため、ディスクが内部に貼り付いている、または貼りついたディスクが内部に落ちて挟まっている。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
	ディスクを入れたまま、本機を移動するなどの振動を与えたため、ディスクが内部に挟まった。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
	シンクロ録音をしている。 ➔ 本体の■を押してシンクロ録音を止めてから、本体の⏏CDを押す。
再生が始まらない	ディスクが入っていない。 ➔ ディスクトレイを開けて、ディスクが入っているか確認する。
	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 ➔ 汚れを拭き取る（95ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 ➔ ディスクを交換する。
	ディスクがずれて入っている。 ➔ ディスクを正しく入れ直す。

次のページへつづく

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	ディスクが裏返しに入っている。 → 印刷面を上にして、ディスクトレイに入れ直す。
	本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 → ディスクを取り出してディスクの水分を拭き取り、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
	ディスクが再生状態になっていない。 → ►（または本体のCD►II）を押し、再生状態にする。
音とびがする	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 → 汚れを拭き取る（95ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 → ディスクを交換する。
	再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 → ディスクを交換する。
	本機に振動が加わっている。 → 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。 → スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
再生が1曲目から始まらない	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 → 停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。
「OVER」が表示される。	再生または一時停止中に►►を押し続け、ディスクの最後まで達した。 → ◄◄を押し続けるか、または I◄◄を押して再生位置を戻す。

MD

症状	原因と対応のしかた
ディスクが入らない	ディスクの向きが違う。 → 文字の書いてある面を上にして、矢印の向きに挿入する。
操作を受け付けない	MDが汚れている、または破損している。 → 新しいMDと交換する。
	「TOC」または「TOC Writing」が点滅し、TOCを書き込み中である。 →「TOC」または「TOC Writing」が消灯してから操作し直す。

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）、傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	ディスクに何も記録されていない。 ➔ 録音されているディスクと交換する。
	本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 ➔ ディスクを本機に入れ、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
	MDが再生状態になっていない。 ➔ ►（または本体のMD►❚❚）を押し、再生状態にする。
	グループ登録された曲がないときに、グループ機能を働かせている。 ➔ GROUPを押して、「GROUP」表示を消し、グループ機能を解除する。
音とびがする	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）、傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	本機に振動が加わっている。 ➔ 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。 ➔ スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
	本機内部とディスクの温度差がはげしい。 ➔ ディスクを本機に入れ、電源を入れたまま10～20分待つ。
再生が1曲目から始まらない	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 ➔ PLAY MODEをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。
MDに録音したり編集を行ったのに、その情報が記録されていない	MDの録音や編集後、MDを取り出さないで電源コードを抜いた。 ➔ MDの録音や編集情報は、MDを取り出すときに記録されるため、録音や編集後は必ずMDを取り出してください（20、31ページ）。
録音できない	MDが誤消去防止状態になっている（「C11」と「Protected」が交互に表示されている）。 ➔ ディスクを取り出し、録音可能状態にする（20ページ）。
	別売りの機器が正しく接続されていない。 ➔ 別売りの機器を正しく接続し直す（77ページ）。
	市販の再生専用のMDが入っている。 ➔ 録音用MDと交換する。
	MDの残り時間が足りない。 ➔ MD編集のERASE機能を使っていらない曲を消す（40ページ）か、別のMDと交換する。
	録音中に停電があった、または電源コードが抜かれた。 ➔ 初めから録音し直す。

次のページへつづく

症状	原因と対応のしかた
高速CD-MDシンクロ録音ができず通常速度の録音に切り換わってしまう	CDの読み取りエラーが起こっている（20ページ）。 ➔ ディスクを交換する。 ➔ 設置場所を変える。
	同じ曲を続けて高速CD-MDシンクロ録音しようとしている。 ➔ 75分経過後に高速CD-MDシンクロ録音し直す（24ページ）。
LP4ステレオで録音すると音がもれる	片方のチャンネルだけに音楽や音声が録音されているCD、テープ、または別売り機器の音をLP4ステレオ録音したときは、音が録音されていないチャンネルにも音がもれることがある。 ➔ ステレオ録音またはLP2ステレオ録音する。
録音したMDに曲番が付かない	雑音が多い音を録音している。 ➔ 正しく曲番が付くようにする（27ページ）。
録音したMDの音が他機器で聞けない	長時間録音（MDLP録音）したMDをMDLPに対応していないMDプレーヤーで再生しようとしている。 ➔ MDLPに対応しているMDプレーヤーで再生する（21ページ）。 ➔ 録音モードを通常の長さのステレオ録音またはモノラル録音にして録音し直す（24ページ）。

チューナー（ラジオ）

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る（「STEREO」が点滅する）	放送局のバンド（FM/AM）、周波数が合っていない。 ➔ バンドと周波数を正しく設定する（51ページ）。
	アンテナが正しく接続されていない。 ➔ 正しく接続し直す（7ページ）。
	• アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 • 電波が弱い。 ➔ 受信状態のよい場所（窓の外など）や方向を探し、設置し直す（8ページ）。 鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のFM簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくならない場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをおすすめします（79ページ）。
	アンテナの一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。 ➔ 付属のFM簡易アンテナは全体で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく（8ページ）。 ➔ 付属のFM簡易アンテナの先は、テープなどで壁にとめる（8ページ）。
	アンテナの一部分をスピーカーコードといっしょに束ねている。 ➔ スピーカーコードからできるだけ離す。
	付属のAMループアンテナのアンテナ線がプラスチックスタンドからはずれている。 ➔ お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る（「STEREO」が点滅する）	電気器具の影響を受けている。 → 電気器具の電源を切ってみる。
ステレオにならない	モノラル受信の設定になっている。 → FM MODEをくり返し押して「AUTO STEREO」を表示させる。
	受信状態が悪い。 → 症状「雑音が入る（「STEREO」が点滅する）」を参照し、アンテナの状態を確認する。
MDに録音中、ザーザーという雑音が周期的に入る	アンテナの設置位置が適切でない。 → 雑音が消える位置までアンテナを動かす。

テープ

症状	原因と対応のしかた
再生音や録音した音が小さい	ヘッドが汚れている。 → ヘッドのお手入れをする（95ページ）。
	ヘッドが磁化している。 → ヘッドを消磁する（95ページ）。
前の録音が完全に消えない	ヘッドが磁化している。 → ヘッドを消磁する（95ページ）。
音がとぎれる	内部のピンチローラーなどが汚れている。 → 市販のクリーニングカセットを使って、お手入れする。
雑音が多い	ヘッドが磁化している。 → ヘッドを消磁する（95ページ）。
録音できない	テープが入っていない。 → テープを入れる。
	テープのツメが折れている。 → ツメの部分だけ穴をふさぐ（95ページ）。
	テープが最後まで巻きとられている。 → テープを巻き戻す。

次のページへつづく

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	本機が正しい状態になっていない。 ➔ 共通「音が出ない」を参照し、本機の状態を確認する。
	別売りの機器が正しく接続されていない。 ➔ 以下の点を確認しながら正しく接続し直す（77ページ）。 • 接続コード/ケーブルが正しい位置に接続されているか。 • 接続コード/ケーブルのコネクターがしっかり奥まで差し込まれているか。
	つないだ機器の電源が入っていない。 ➔ 電源を入れる。
	つないだ機器での再生が始まっていない。 ➔ つないだ機器の説明書を見て、再生を始める。
	ファンクションが「AUX」になっていない。 ➔ FUNCTIONをくり返し押して「AUX」を表示させる（78ページ）。
音が歪む	AUX INアナログ入力端子につないだ機器からのアナログ録音中に、規定以上の大きな信号が入ってきた。 ➔ 本機へ入力される音を小さくする。
MDプレーヤーから音が出ない	長時間録音（MDLP録音）したMDをMDLPに対応していないMDプレーヤーで再生しようとしている。 ➔ MDLPに対応しているMDプレーヤーで再生する。 ➔ 録音モードを通常の長さのステレオ録音またはモノラル録音にして録音し直す。

これらの処置をしても正常に動作しないときは — リセット

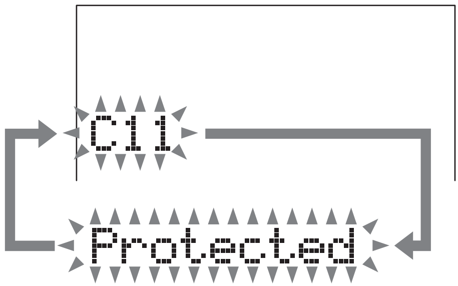
1 電源コードを抜く。
2 電源コードを入れる。
3 本体の■とI/⏻を同時に押す。

設定がお買い上げ時の状態に戻ります。ラジオ局のプリセットや時計合わせ、タイマー設定をやり直してください。

自己診断表示機能

（3桁または5桁の表示とメッセージが交互に出たら）

本機には自己診断表示機能がついています。これは、本機が正しく動作していないとき、表示窓に3桁または5桁の表示とメッセージを交互に表示してお知らせする機能です。
表示によって、本機の状態がわかるようになっています。以下の表をご覧になり、表示に合った対応をしてください。2、3度くり返しても正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。



表示番号/メッセージ	原因と対応のしかた
C11/Protected	ディスクが誤消去防止状態になっている。 ➔ ディスクを取り出し、録音可能状態にする（20ページ）。
C13/REC Error*	正しく録音できなかった。 ➔ 振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す（「故障かな?と思ったら」のMDの項目にある「音とびがする」（85ページ）をご覧ください）。
	ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。 ➔ ディスクを交換して、録音をやり直す。
C13/Read Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 ➔ ディスクを入れ直す。
C14/TOC Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 ➔ 他のディスクを入れてみる。 ➔ ディスク上の内容をすべて削除してよいときは、MD編集のAll Erase機能を使って記録されている内容をすべて削除する（41ページ）。
C41/Cannot Copy	録音しようとした音源が市販の音楽ソフトのコピーになっている。 ➔ シリアルコピーマネージメントシステムにより、コピーできない（97ページ）。
E0001/MEMORY NG	本機を動作させるために必要な内部情報に問題が生じた。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
E0101/LASER NG	光ピックアップに問題が生じた。 ➔ 故障の可能性があります。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
E0201/LOADING NG	ローディングに問題が生じた。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

* 操作できなくなった場合は電源を切って1分程してから再度電源を入れてディスクを取り出してください。

メッセージ一覧

使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

CD

メッセージ	原因と対応のしかた
Cannot Edit	テキスト付きのディスクにディスク名を付けようとした。 ➔ テキスト付きのディスクにディスク名は付けられません。
Not Used	使用できないボタンを押した。
No Disc	ディスクが入っていない。 ➔ ー
OVER	再生または一時停止中に▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 ➔ ◀◀を押し続けるか、または⏮を押して再生位置を戻す。
Reading	ディスクの情報を読み取っている。 ➔ 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が読み取れなくなります。
Step Full!	26曲（ステップ）以上プログラムしようとした。 ➔ 26曲以上はプログラムできない。

MD

メッセージ	原因と対応のしかた
Assign None	すべての曲がグループ登録されている。 ➔ ー
Auto Cut	録音中、無音状態が約30秒以上続いたため、オートカット機能が働き、無音部分（曲間）を約3秒に短縮した後、録音一時停止状態になった。 ➔ 録音を始めたいところで▶（または本体のMD▶❚❚）を押し、録音を再開する。曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除して録音し直す（29ページ）。
Blank Disc	挿入されたMDには何も録音されていない、またはMD編集のERASE機能を使って録音内容がすべて削除されている。 ➔ ー

メッセージ	原因と対応のしかた
Cannot Edit	市販の再生専用MDが入っている。 ➔ 再生専用MDは編集できない。
	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 ➔ PLAY MODEをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。
	MDLP録音されている。 ➔ MDLP録音した曲の録音レベルは変更できない。
Cannot REC	市販の再生専用MDが入っている。 ➔ 再生専用MDへは録音できない。
	ファンクションがMDになっている。 ➔ FUNCTIONをくり返し押して、録音したい音源に切り換える。
Cannot SYNC!	ディスクが入っていないため、シンクロ録音できない。 ➔ 録音可能状態にし（20ページ）、ディスクを入れる。
	録音可能時間が残り少なく、シンクロ録音できない。 ➔ 新しいディスクと交換する。
Complete!	MD編集作業が、正常に終了した。 ➔ ー
Disc Full!	録音可能時間が残り少なく、録音できない。 ➔ 新しいディスクと交換する。
Group Full!	グループ数の上限を越えて新たにグループを作成しようとした。または、グループ管理情報の更新に必要な文字数が不足している。 ➔ 不要な文字（ディスク名または曲名）を消す。
Impossible	MD編集操作で、不可能な編集内容が指定された。 ➔ 編集操作をやり直す。
	つなごうとした（Combine）または一部分を消そうとした（A-B Erase）曲が、MDのシステム上の制約で、つなげないまたは消せない状態になっている。 ➔ 指定のとおりに編集することはできません。 MDでは、ひとつの曲が連続で録音されるわけではありません。ディスク上の空いている場所を探しながら、効率よく録音されていきます。この録音方式により、MDは手軽に録音、編集がくり返せるのです。しかし、録音や編集を何度もくり返したMDでは、ひとつの曲がディスクのあちらこちらに、少しづつ記録されている状態ができてしまうことがあります。そのような状態で記録されてしまった曲は、MDのシステム上の制約により、他の曲とつなぐことまたは一部分を消すことができません。
Incomplete!	本機の振動やディスクの傷、汚れなどにより、録音後の録音レベルの変更やフェードイン・フェードアウトの操作が正しく行われなかった。 ➔ 本機を振動のない場所に置く、または傷や汚れのないディスクを使用する。

次のページへつづく

メッセージ	原因と対応のしかた
Initialize	長い間電源を入れていなかったため、初期化を行っている。 → ー
Name Full!	入力可能な文字数（約1,700文字、カナ文字のみで800字）がすでに記録されている。 → 不要な曲名などを削除してから、入力し直す。
No Change	録音後に録音レベルを変更するときに、録音レベルを変更しないでENTER/YESを押したため、書き換えをせずに終了した。 → ー
No Disc	ディスクが挿入されていない。 → ー
Push STOP!	MD再生中に使用できないボタンを押した。 → 再生を停止させてから、操作する。
Reading	ディスクの情報を読み取っている。 → 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が読み取れなくなります。
−Rehearsal−	MD編集A-B EraseまたはDIVIDEの操作中、曲を分ける場所の指定終了後、確認のために再生中。 → 再生される内容を聞き、分ける部分を確認する（42、46ページ）。
Retry	CDの読み取りエラーが起こり、CDのデータを再度読み取っている。 → ー
Retrt [HCMS]	同じ曲を続けて高速CD-MDシンクロ録音しようとしている。 → 75分経過後に高速CD-MDシンクロ録音し直す（24ページ）。 → 通常速度のシンクロ録音で録音し直す（24ページ）。
S.F Edit!	S.F EDIT（録音後の録音レベルの変更、フェードイン・フェードアウト）を実行中に他の操作をしようとした。 → S.F EDITの実行中は他の操作はできない。
S.F Edit NOW	S.F EDIT（録音後の録音レベルの変更、フェードイン・フェードアウト）の実行中にI/⏻（電源）を押した。 → S.F EDITの実行中に電源を切ると、書き換えが正常に終了しない。 書き換え終了後に電源を切る。
Smart Space	録音中、約3秒以上、約30秒未満の無音状態が続いたため、スマートスペース機能が働き、無音部分が約3秒に短縮された。 → 曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除する（29ページ）。
Step Full!	26曲（ステップ）以上プログラムしようとした。 → 26曲以上はプログラムできない。

メッセージ	原因と対応のしかた
TOC Writing	録音、編集された情報を、ディスクに書き込んでいる。 → 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が書き込めなくなります。
Track End	MD編集DIVIDEの操作中、曲を分ける位置の調節中に曲の最後まで達した。 → ⏮または◀◀を押して、位置を変える（46ページ）。
Tr Protected	Net MD対応機器でチェックアウトした曲などは、曲が保護されているため、一部のMD編集機能は使用できません。 → ー

テープ

メッセージ	原因と対応のしかた
TAPE No Tape	テープが入っていない。 → ー
TAPE No Tab	誤消去防止ツメが折れているため、録音できない。 → A、B両面のツメの部分だけ穴をふさぐ（95ページ）。

タイマー

メッセージ	原因と対応のしかた
OFF TIME NG	ウィークリータイマー設定で、終了時刻と開始時刻を同じに設定した。 → 終了時刻を設定し直す。

その他

使用上のご注意

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

設置時のご注意

- オーディオ機器は、密閉した場所に置いて使用しないで、温度上昇を防ぐために風通しの良い所でお使いください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。設置場所にご注意ください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。

使用時の放熱について

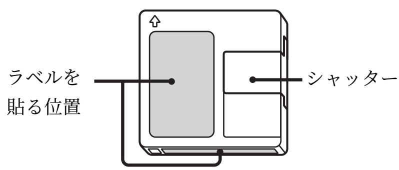
- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このようなときは、キャビネットなどに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。
  また、動作中の温度上昇を避けるために空冷ファンを搭載している機器では、大きな音を出したときなどにファンが回転します。ファンの通風孔付近を塞いで使用すると、機器の温度が上昇して故障の原因になります。
- 電源を切っているにもかかわらず、本機の天板があたたかくなることがありますが故障ではありません。電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れています。それらは、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われています。

移動時のご注意

- 必ずCDやMDを取り出してください。中に入れたまま動かすと、取り出せなくなることがあります。
- 移動する前に、電源が切れ、すべての動作が終了していることを必ず確認してください。

MDの取り扱いかた

- シャッターを無理に開けようとすると、壊れることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。
- ディスクに付属のラベルはシャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。くぼみの形はディスクによって異なります。



- 定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。

CDの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

カセットテープを入れる前に

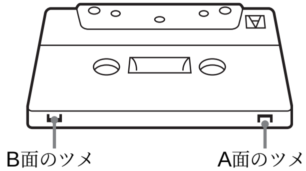
テープのたるみをとってください。たるんでいるとテープが巻き込まれて使えなくなることがあります。

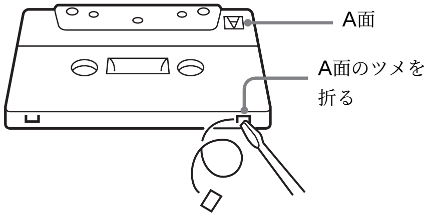
長時間テープの使用は避けてください

90分を超える長時間テープは、テープ自体が薄く伸びやすい性質となっています。そのため機械に巻き込まれ、本機の故障の原因となる場合があります。ご使用をお避けください。

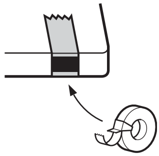
テープの録音内容を消したくないときは

消したくない面の誤消去防止ツメを折ります。





ツメを折っても、折ったツメの部分だけ穴をふさげば再び録音できます。



ヘッドのお手入れ

ヘッドはおよそ10時間使うごとにクリーニングしてください。
汚れがひどくなると、音が悪い、音が小さい、音がとぎれる、前の音が消えないで残る、録音ができない、などの症状が出ます。
また、特に大切な録音をする前や古いテープを使用した後には、かならずクリーニングしてください。
別売りのクリーニングカセット（乾式）C-1KN、または、クリーニングカセット（湿式）CHK-1をお使いください。詳しくはそれぞれのクリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

ヘッドを消磁する

ヘッドやテープのあたる金属部分は、20～30時間使うごとに別売りのカセットタイプのヘッド消磁器で消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の取扱説明書をご覧ください。

MDのシステム上の制約

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full!」が表示される

255曲録音されると、それ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音するか、別のMDを使ってください。

曲数（最大255曲まで）にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full!」が表示される

エンファシス情報などが頻繁に変化する曲を録音したり、録音や編集をくり返し行うと、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full!」が表示されます。

編集時に「Group Full!」が表示される

- グループ機能が働いているときに編集操作を行うと、「Group Full!」と表示されることがあります。この場合、グループ管理に必要な文字数が不足しています。ディスク名やグループ名などの不要な文字を削除してください。
- グループ機能が働いていないときでも、MOVE、DIVIDEなどの編集操作を行うと、グループ管理情報が更新されるため、「Group Full!」と表示されることがあります。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒*以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても、録音できる残り時間が増えないことがあります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約24秒、LP4ステレオ録音時は約48秒）

曲を消したりつなごうとしたときに「Impossible」が表示される

何度も編集をくり返すと、「Impossible」が表示され、曲の一部分を消すことができなくなる場合や2曲を1曲につなげなくなる場合があります。これはミニディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間と一致しない

通常、録音は約2秒*を最小単位としてディスクに記録します。2秒*に満たない場合でも、実際には2秒*分のスペースを使います。このため、実際に録音できる時間は少なくなります。また、MDに傷があるとその部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約4秒、LP4ステレオ録音時は約8秒）

編集した曲を再生しながら早送り、巻戻しすると音が途切れる

再生しながら早送り、巻戻しするときは通常より高速で再生します。このため、短い曲がディスクの上に分散していると探すのに時間がかかり、音が途切れることがあります。

曲番が曲の頭に付かない

レベルシンクロ録音中でも、次のときは曲番が曲の頭に付かないことがあります。

- 曲の間が短くて一定レベル以下になるのが2秒未満のとき
- 曲の途中でも2秒以上一定レベル以下になるとき
- 4秒*以下の曲を録音したとき

* ステレオ、モノラル、LP2ステレオ録音時。（LP4ステレオ録音時は8秒以下）

余分な曲が作られる

CDの曲間が長い場合、余分な曲が作られることがあります。

録音したトラック数が異なる

CDに短い曲が含まれている場合、録音しても曲番が付かず、CDとMDで曲数が異なることがあります。

デジタル録音の制約 — シリアルコピーマネージメントシステム

デジタルオーディオでは、音声信号をデジタルでやりとりします。コンパクトディスク（CD）、ミニディスク（MD）、デジタルオーディオテープ（DAT）、衛星デジタル音楽放送などがこれに当たります。これらは音楽を手軽に、劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。それが「シリアルコピーマネージメントシステム」です。本機の設計はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

原則1
デジタル録音したものから、さらに他のデジタル録音機器（MDやDATデッキなど）へのデジタル録音はできない。

原則2
アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できる。

ご注意

- 機器のアナログ入出力端子同士を接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
- 著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

次のページへつづく

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：XR-MJ10
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況：
- 故障したときに再生していたディスク：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

本体（CX-LMJ10）

アンプ部

実用最大出力	23W＋23W（JEITA* 6Ω負荷）
入力端子	アナログ：1V、47kΩ
出力端子	PHONES端子： ステレオミニジャック、16Ω以上 SUB WOOFER端子： 1.2V

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
周波数特性	2Hz～20kHz

MDデッキ部

サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	5Hz～20kHz

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
周波数特性	ソニー TYPE Iカセット 60～10,000Hz ±3dB

チューナー部

受信周波数	FM：76～108MHz AM：531～1,602kHz
アンテナ端子	FM：75Ω不平衡型 AM：外部アンテナ端子

スピーカーシステム（SSX-LMJ10またはSSX-LMJ11）

型式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	ウーファー（低音用）12cmコーン型 トゥイーター（高音用）2.5cmトゥイーター インピーダンス：6Ω
出力音圧レベル	88dB/W/m
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）	SSX-LMJ10：145×235×233mm SSX-LMJ11：145×235×223mm
質量	2.3kg（1台）

その他

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	55W：通常動作時（JEITA*） 0.3W以下：スタンバイ（節電モード）時
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き、最大突起部含む）	アンプ/CDプレーヤー /MDデッキ/カセットデッキ/チューナー部： 160×235×305.6mm
質量	アンプ/CDプレーヤー /MDデッキ/カセットデッキ/チューナー部： 5.3kg
付属品	リモートコマンダー（RM-Z20062WまたはRM-Z20062B）（1） 単3形乾電池（2） FM用簡易アンテナ（1） AMループアンテナ（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） アイワご相談窓口のご案内（1） 保証書（1） テクニカルインフォメーションセンターのご案内（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

eco info

- 待機時消費電力0.3W以下
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用

ラジオ局名一覧

本機には、国内の以下のラジオ局の名前があらかじめ登録されています。

全国一律

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
95.75	TV-1CH		
101.75	TV-2CH		
107.75	TV-3CH		

ホッカイドウ（北海道）

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
80.4	AIR-G’	900 1269 1287 1404 1449	HBC ラジオ
82.5	NORTH WAVE		
		639 909 1071 1440	STV ラジオ

トウホク（東北）

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	FM イワテ	684	IBC イワテ
77.1	Date fm	918	YBC ヤマガタ
80.0	FM アオモリ	936	ABS アキタ
80.4	FM ヤマガタ	1098	ラジオ フクシマ
81.8	フクシマ FM	1233	RAB アオモリ
82.8	FM アキタ	1260	TBC トウホク

カントウコウシンエツ（関東甲信越）

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	Inter FM	765	YBS ヤマナシ
76.4	RadioBerry	810	AFN
77.1 78.8	ホウソウダイガク	954	TBS ラジオ
		1098	SBC シンエツ
77.5 86.5	FM ニイガタ	1116	BSN ニイガタ
		1134	ブンカホウソウ
78.0	bayfm	1197	IBS イバラキ
78.6 83.0	FM-FUJI	1242	ニッポンホウソウ
		1422	ラジオニホン
79.0	FM Port	1530	CRT トチギ
79.5	NACK5		
79.7	FM ナガノ		
80.0	TOKYO FM		
81.3	J-WAVE		
84.7	FM ヨコハマ		
86.3	FM グンマ		

チュウブ（中部）

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	FM フクイ	738	KNB キタニホン
77.8	ZIP-FM	864	FBC フクイ
78.9	FM ミエ	1053	チュウブニホン
79.2	K-MIX	1107	MRO ホクリク
79.5	RADIOi	1332	トウカイラジオ
80.5	HELLO FIVE	1404	SBS シズオカ
80.7	FM AICHI	1431	GBS ギフ
82.7	FM トヤマ		

キンキ（近畿）

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.5	FM COCOLO	558	AM KOBE
77.0	E-Radio	1008	ABC アサヒ
77.6 89.9	Kiss-FM	1143	KBS キョウト
		1179	MBS マイニチ
80.2	FM802	1314	ラジオ オオサカ
85.1	fm osaka	1431	WBS ワカヤマ
89.4	＊α-STATION		

* MDに録音した場合、「α」の文字は空白表示されます（MD規格外の文字です）。

次のページへつづく

チュウゴク（中国）

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.8	FM オカヤマ	765	KRY ヤマグチ
77.4 78.8 86.6	V-air	900	BSS サンイン
		1350	RCC チュウゴク
		1494	RSK サンヨウ
78.2	HFM		
79.2	FM ヤマグチ		

シコク（四国）

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
78.6	FM カガワ	900	RKC コウチ
79.7	FM エヒメ	1116	RNB ナンカイ
80.7	FM トクシマ	1269	JRT シコク
81.6	FM コウチ	1449	RNC ニシニホン

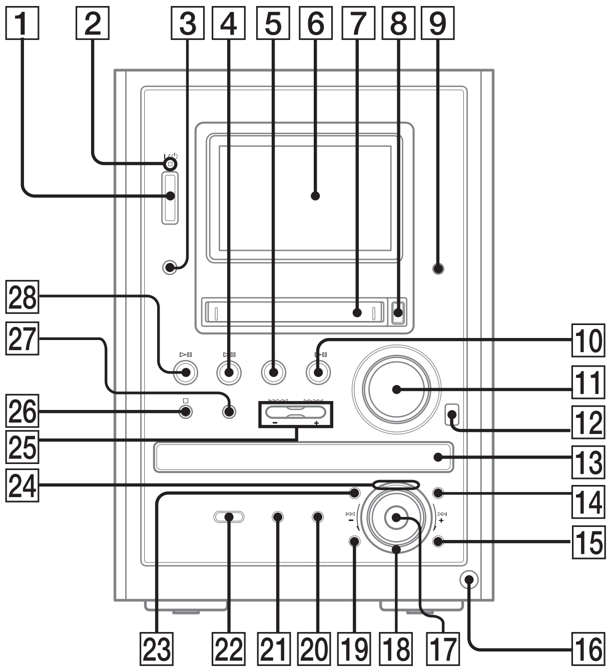
キュウシュウ（九州）

FM（TV）		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1 82.7	LOVE FM761	648	AFN
		738	RBC リュウキュウ
77.0 78.7	CROSS FM	864	ラジオ オキナワ
		936	MRT ミヤザキ
77.4	FMナカキュウシュウ	1098	OBS オオイタ
77.9	FM サガ	1107	MBC ミナミニホン
79.5	SMILE-FM	1197	RKK クマモト
79.8	ミュー FM	1233	NBC ナガサキ
80.0 80.7	FM フクオカ	1278	RKB マイニチ
		1413	キュウシュウアサヒ
83.2	FM ミヤザキ	1458	ラジオ サガ
87.3	FM オキナワ		
88.0	FM OITA		
89.1	AFN		

好きなラジオ局名を登録することもできます。
詳しくは、「記憶させたラジオ局に名前を付ける」（54ページ）をご覧ください。

各部のなまえ

本体



1 I/⏻（電源）スイッチ

2 スタンバイインジケーター

3 リモコン発光部

シーディー
4 CD►II（再生/一時停止）ボタン

チューナー　バンド
5 TUNER/BANDボタン（51ページ）

6 表示窓

エムディー
7 MDスロット（15ページ）

エムディー
8 MD⏏（MD取り出し）ボタン

アミューズ
9 AMUSEボタン（73ページ）

テープ
10 TAPE►（再生）ボタン

ボリューム
11 VOLUME つまみ

シーディー
12 ⏏ CD （ディスク取り出し）ボタン

13 ディスクトレイ（11ページ）

カラー
14 COLORボタン（69ページ）

セットアップ
15 SETUPボタン（23、51、71ページ）

ヘッドホーン
16 HEAD PHONE端子

エンター　イエス
17 ENTER/YESボタン（9、14、17、35、51、62、70、71ページ）

マルチジョグ
18 MULTI JOGダイヤル（9、23、35、51、60、62、72ページ）

クロック
19 CLOCKボタン（9ページ）

メニュー　ノー
20 MENU/NOボタン（28、35ページ）

サウンド
21 SOUNDボタン（60ページ）

スマートレコーディング
22 SMART RECボタン（23ページ）

タイマー
23 TIMERボタン（62ページ）

その他

次のページへつづく

㉔ **ジョグインジケーター**

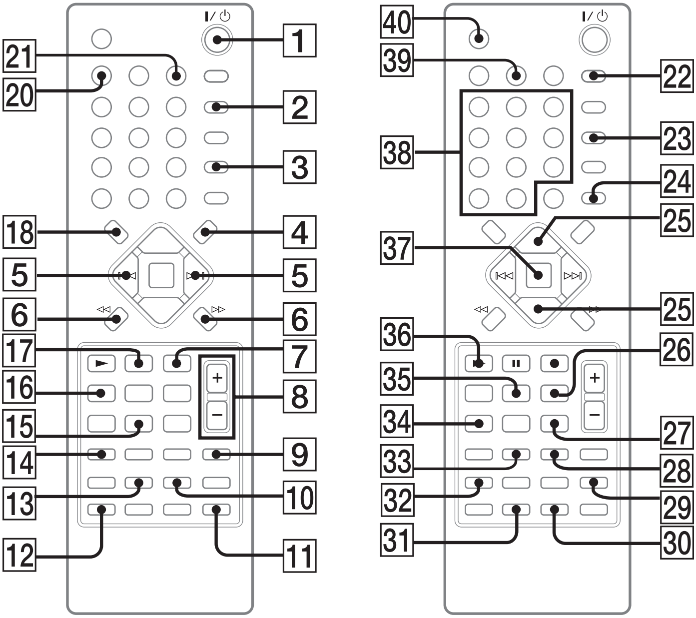
㉕ **⏮/⏭（頭出し）ボタン/**
TUNING（チューニング） ＋/－ボタン（51ページ）

㉖ **■（停止）ボタン**

㉗ FUNCTION（ファンクション）ボタン（15、26、34、58、78ページ）

㉘ MD（エムディー）►II（再生/一時停止）ボタン

リモコン



1 I/⏻（電源）スイッチ

2 DISPLAYボタン（66ページ）

3 SCROLLボタン（35、68ページ）

4 MENU/NOボタン（28、35ページ）

5 ⏮/⏭（頭出し）ボタン/PRESET ＋/–ボタン（51ページ）

6 ◀◀/▶▶（早戻し/早送り）ボタン

7 ■（停止）ボタン

8 VOLUME ＋/–ボタン

9 EQ　ボタン（60ページ）

10 PLAY MODEボタン（12、15、31ページ）

11 DIMMERボタン（68ページ）

12 REC PAUSE/STARTボタン（24、57、78ページ）

13 REC MEDIA SELECTボタン（26、59、78ページ）

14 GROUPボタン（18、25、35ページ）

15 AM ボタン（51ページ）

16 MD　ボタン（15、28、34ページ）

17 ❚❚（一時停止）ボタン

18 SETUPボタン（23、51、71ページ）

19 CLEARボタン（14、18、35、55、70、72ページ）

20 SLEEPボタン（61ページ）

21 TIMERボタン（62ページ）

22 CD OPEN/CLOSEボタン（11ページ）

23 AMUSEボタン（73ページ）

24 NAME EDIT/SELECTボタン（34、54、71ページ）

25 GROUP ＋/–ボタン（18、25、38ページ）

26 TAPEボタン（56ページ）

その他

次のページへつづく

27 AUXボタン（78ページ）

28 REPEATボタン（13、16ページ）

29 i-Bassボタン（60ページ）

30 FM MODEボタン（52ページ）

31 REC MUTINGボタン（59ページ）

32 SYNCHRO MODEボタン（24、57ページ

33 REC MODEボタン（24ページ）

34 FM ボタン（51ページ）

35 CD　ボタン（12ページ）

36 ►（再生）ボタン

37 ENTER/YESボタン（9、14、17、35、51、62、70、71ページ）

38 アルファベット/数字/カタカナ入力ボタン（12、16、34、53ページ）

39 CLOCKボタン（9ページ）

40 MUTINGボタン（12、16、54、57ページ）

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

A-Z

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

アイワホームページ　● http://www.jp.aiwa.com/

アイワホームページは、アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「サポート情報」や「よくあるご質問（FAQ）」に関しては、ホームページをご活用ください。

アイワお客様ご相談センター

● ナビダイヤル……………………… 0570-00-4680
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。）

● 携帯電話・PHSでのご利用は……… 0466-31-4833
（ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。）

受付時間：月〜金曜日 9:00〜18:00　土・日・祝日 9:00〜17:00

*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。
● FAX………………………………………… 0466-31-4250

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in China

http://www.aiwa.com/